

令和6年12月10日
都市ブランド創造局スポーツ振興課

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見提出手続きの実施結果

1 意見募集期間

令和6年10月10日(木)～令和6年11月8日(金)

2 意見提出状況

(1)提出者 99人

(2)提出意見数 130件

(3)提出方法 ア 持参 87人 イ 郵便 0人
 ウ FAX 0人 エ 電子メール 2人
 オ 電子回答 10人

(4)提出意見の内訳

分類名	件数
北九州市スポーツ推進計画(素案)全体	27
方針Ⅰ スポーツでまちの魅力に ACCEES！ 重点方針	27
方針Ⅱ いつでもだれでもスポーツに ACCEES！	44
方針Ⅲ スポーツで未来に ACCEES！	23
その他	9

(5)計画への反映状況

分類名	件数
1 計画に掲載済	69
2 追加・修正あり	11
3 今後の参考とするもの	22
4 追加・修正なし	7
5 その他	21

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
北九州市スポーツ推進計画(素案)全体			
1	稼げて、彩りがあって、安らぐまちを作るのには市民の協力が不可欠だと思うので北九州市の取組は素晴らしいと感じる。		1
2	北九州市はスポーツ推進計画策定に取り組んでいることは素晴らしいと思う。 地域スポーツ施設やイベントがとても充実しており、健康で楽しい生活が送れる市だと考えている。		1
3	スポーツ推進計画の策定とてもありがたく感じている。方向性に強く賛同する。		1
4	スポーツは健康促進や交流の場として多くメリットを持ち、市民生活の向上やまちの活性化に大きく貢献できると考えられる。		1
5	「北九州市スポーツ推進計画」は、スポーツを通じた市民生活の向上や地域の成長を目指す重要な取組だと思う。		1
6	「成長と幸福の好循環」を生み出す取組についてとても興味があった。		1
7	「豊かで未来輝く市民生活」と「まちの成長」のためにスポーツに重点をおくのはとても良いと思う。		1
8	「北九州市スポーツ推進計画」について私は地域のスポーツ活動の発展や健康増進、市民の幸福度向上などを図っていくためにとても重要な取組だと思う。 スポーツは健康や交流、地域活性化に大きな影響を与えるため、計画の実施により市民の生活の質も向上させることができると思う。	この計画の方針に沿った施策を進めることにより、豊かで未来輝く市民生活の実現と地域・経済の活性化を促すことでまちの成長を目指してまいります。	1
9	北九州市は産業の歴史が深い都市であるが、人口減少や高齢化といった課題にも直面している。 スポーツ推進計画は、スポーツを通じて地域の活性化を図る絶好の機会である。 スポーツイベントや競技大会を通じて観光客に呼び込み、地元経済を活性化させるだけでなく、地域住民の結束力を高めることができる。		1
10	「北九州市スポーツ推進計画」は、スポーツを通じて人々の健康増進と地域社会の活性化を図り、ライフステージごとにスポーツ機会の提供と共生社会の実現を目指す取組として注目を集めている。 さらに、スポーツの産業化と経済成長への貢献に向けた同市の取組を高く評価する。		1
11	今回、北九州市スポーツ推進計画(素案)を読んで市民と共に北九州市を盛り上げる活動は非常に素晴らしいと思った。 北九州市や福岡市は色々なプロチームがあってスポーツの関りがとても親密なまちだと感じているので北九州市が目指す姿を市民と作り上げる事はとても良い事だと感じた。		1
12	もっと若者の意見を取り入れていった方が良いと思う。	若者の意見を取り入れることは非常に大事なことだと考えます。 このため、今回の計画(素案)を作成するにあたり、大学生など多くの若者の意見を聞きました。	1
13	人口減少や少子高齢化の解決をするのにスポーツ関連に力を入れて意味があるのか。	スポーツの力で都市の魅力を上げてまちの活力を向上させることで、様々な課題解決を図ってまいります。	1

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
14	20ページの計画の目標について、設定した目標値が妥当であるかを判断する参考として、コロナ前の調査結果も載せたほうが良いのではないかと。	計画の目標値については、直近(コロナ禍)の調査結果のみならず、コロナ禍前の調査結果や国や他政令市の指標を踏まえ、設定しております。ご意見を踏まえ、計画の目標の箇所に、コロナ禍前の調査結果も追記します。	2
15	計画目標が高い気もするが、成功率・目標達成率がどのくらいあるか知りたい。	計画の目標値は、国の目標等を参考としながら決めました。目標は、各計画によって違うため把握はしていません。今後、目標を達成するよう、方針Ⅰ、方針Ⅱ、方針Ⅲに沿った取組を進めてまいります。	5
16	計画目標①スポーツを身近に感じる市民の割合70%(令和11年度目標)で、令和4年度には44.4%と約26%も差が開いているがそこをあと5年間でどの様に達成するのか。	今後、目標を達成するよう、方針Ⅰ、方針Ⅱ、方針Ⅲに沿った取組を進めてまいります。	5
17	計画目標①スポーツを身近に感じる市民の割合が44.4%あり、何を根拠に70%まで上げたいのか。	計画の目標値は、国の目標等を参考としながら決めました。	3
18	計画目標②スポーツ実施率が56.6%であるが、1日の労働時間が長いということも関係あるのでは。	スポーツ実施率を上げるため、気軽にスポーツに親しめる環境づくりなどに取り組んでまいります。	5
19	計画目標③スポーツ観戦率を上げることを目標にしていることは良いと思う。	今後、目標を達成するよう、方針Ⅰ、方針Ⅱ、方針Ⅲに沿った取組を進めてまいります。	5
20	方針Ⅰが重点方針として赤枠で示されているが、その狙いを分かりやすいように示したほうが良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、第3章2の箇所に、「好循環を生み出すエンジン!」を追記します。	2
21	「目指す姿」に「スポーツに親しみ元気になること」と書いている。一方で、方針Ⅰにはスポーツで稼げるまちと書いてあり、重点方針とされているが、「健康を目的としているのか」「稼ぐことが目的なのか」を明確にして欲しい。	目指す姿には、地域・経済の活性化について言及しており、方針Ⅰ～Ⅲを網羅しています。	1
22	「稼げるまち」の実現に向けた戦略について、詳しく明確に記載されているので良いと思う。	今後、目標を達成するよう、方針Ⅰ、方針Ⅱ、方針Ⅲに沿った取組を進めてまいります。	5
23	「稼げるまち」とあるが、スポーツだけで稼げる計画があるのか。またその計画が100年後、200年後も続けられるのか。	北九州市は、新ビジョンに沿ってあらゆる分野で稼げるまちの実現を進めてまいります。スポーツの分野では、大規模国際スポーツ大会等を誘致・開催し、交流人口を増やしていくとともに、北九州市の観光や文化等の様々な資源との連携を図ることで、北九州市内での滞在期間を延ばしていくなど、スポーツが持つ力でまちの活性化を推進し、スポーツで稼げるまちの実現を目指してまいります。また、今回の計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間で、その後は、スポーツを取り巻く環境変化に応じた計画としていく予定です。	5
24	「稼げるまち」の実現に向けた戦略を明確に記載されているのが市民に分かりやすく良いと思う。	今後、目標を達成するよう、方針Ⅰ、方針Ⅱ、方針Ⅲに沿った取組を進めてまいります。	5
25	目指す都市像の実現に向けた三つの重点戦略の「稼げるまち」が少し品がない感じがするので「潤うまち」や「実業家のまち」など違う言い回しが良いと思った。	今回の計画は、北九州市基本構想・基本計画の分野別計画として位置付けているため、市の方針に沿った内容になっています。このため、表現を合わせ「稼げるまち」としています。	5

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
26	3つの「ACCESS」について、とても良いと思った。特に方針Ⅰについて。	今後、目標を達成するよう、方針Ⅰ、方針Ⅱ、方針Ⅲに沿った取組を進めてまいります。	5
27	「方針Ⅰ」に関してはここ10年でかなり進化し、目的も達成できていると思う。		5
方針Ⅰ スポーツでまちの魅力にACCEES！ 重点方針			
28	北九州市民球場でホークス以外にも試合してほしい。交流戦の試合会場としても活用してほしい。	プロスポーツチームの試合の増加は非常に重要だと考えています。 今回いただきました市民球場の活用やにぎわいづくりなどのご意見については、今後の参考とさせていただきます。	3
29	北九州市民球場で年に1-2回のホークスの試合を3-4回にしてほしい。		3
30	北九州市民球場で開催されるホークス戦で、1試合だけでも良いので交流戦の時にも試合をしてほしい。		3
31	プロスポーツチーム等との連携とあるが、一番認知度が高く、集客が見込めるのはプロ野球のホークスの試合だと思う。他のスポーツの試合を誘致することよりプロ野球の試合数を多く誘致することの方が市の活性化につながると思う。		3
32	北九州市民球場で試合をする時はテナントをもう少し増やしてほしい。		3
33	色んな国際スポーツ大会などを北九州市で開催することにより、スポーツを観る人が増えると思う。	現在、北九州市は様々な大規模国際スポーツ大会の誘致・開催に力をいれています。 大規模国際スポーツ大会は、観戦者の増加を図るとともに、交流人口を増やすなど、まちの活性化を促進するため、今後も誘致・開催を推進します。	1
34	主要駅がスタジアムまでの距離における立地は素晴らしく、集客という面では稼げるまちの実現として第一歩になるのではないかと考える。	ミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)は、小倉駅からの直線距離が約700mで抜群の立地です。 ご意見のとおり、今後もラグビーやサッカーなどの大規模国際スポーツ大会の誘致・開催を進め市内への集客を促進します。	1
35	どの県より北九州市の方が主要駅からスタジアムの距離が短いのは初めて知った。		1
36	北九州スタジアムの駅チカ、海チカで強みとして出している所に実際の徒歩時間も一緒に載せたら(距離だと分かりづらいので)良いと思った。	ミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)は、小倉駅からの直線距離が約700mで、徒歩7分の場所に立地しています。 ご意見を踏まえ、第2章2(2)に「※JR小倉駅から北九州スタジアムまで徒歩約7分」を追記します。	2
37	北九州市で国際規模の大会を行えるようにするために会場へのアクセスの良い宿泊場所を用意する必要があると思った。そうすれば、まち全体もさらに活性化してスポーツが発展すると思う。	大規模国際スポーツ大会等を誘致・開催し、交流人口を増やしていくためには、ホテルなどの宿泊施設は必要であると考えます。ホテルなどの宿泊施設については、民間事業者と情報共有してまいります。	3
38	北九州市でスポーツを通じた消費を喚起するなら市内に宿泊させるのが効果的だと思うのでスポーツ大会やスポーツイベント後にどうやって宿泊させるか考えたほうが良いと思う。	スポーツ大会への参加や観戦などを目的とした北九州市内への訪問やスポーツと北九州市の地域資源等を掛け合わせた観光を楽しむスポーツツーリズムを推進することで、交流人口を増やし消費を喚起します。	1

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
39	大規模国際スポーツ大会などの誘致・開催に積極的に取り組んでいることを続けていけば良いと思う。	大規模国際スポーツ大会等を誘致・開催し、交流人口を増やしていくとともに、北九州市の観光や文化等の様々な資源との連携を図ることで、北九州市内での滞在期間を延ばしていくなど、スポーツが持つ力でまちの活性化を推進します。	1
40	自転車サイクリングロードを整備して、サイクリストを呼び込んだサイクリストに優しい北九州。 瀬戸内海のしまなみ海道が、サイクリストに有名で、走るために海外からも訪れる人が多い。 北九州空港、新幹線の小倉駅を起点としたサイクリングコースを充実させて、宿泊や食をアピールしたサイクリングツーリズムをアピールしてはどうか。 宿泊や食も絡めてイベント開催して宣伝すれば、サイクリストの聖地になれると思う。	大規模国際スポーツ大会等を誘致・開催するとともに、サイクリストなども含めたスポーツツーリズムを促進することで、交流人口を増やし、北九州市の観光や文化等の様々な資源との連携を図ることで、北九州市内での滞在期間の延長を促進します。	4
41	ギラヴァンツ北九州や福岡ソフトバンクホークスなど地元のチームを、地元の多数の人が応援し、盛り上げることで、さらに地域活性化に繋がると思う。	北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を市民や地元企業等と一体となって支援するとともに、野球やバレーボール、ソフトボールなどの市ゆかりのプロスポーツチーム等も支援することで、市民のシビックプライドの醸成や青少年の健全育成、地域の活性化につなげてまいります。	1
42	自分の地域に密着しているスポーツチームなどを知る機会が少ない。		1
43	プロスポーツチームを見たときに、ギラヴァンツ、ソフトバンクホークスは有名でまちなかでもよく見る。その他のチームに関しては、北九州市のサイトではじめて見た。 まち中のポスターなどで、より市内のプロスポーツチームを知れる機会をつくってほしい。	市ゆかりのプロスポーツチーム等やトップアスリート・パラアスリートの情報発信を強化するとともに、産学官連携等により市民とのふれあいの機会を創出することで、応援機運の醸成や支援の拡大につなげてまいります。	1
44	プロスポーツチームとの連携で市民や地元企業と一体となり地域活性化につなげる取組は、市民にとって良い影響があると思った。		1
45	北九州市ではプロスポーツチームはあるがレベルが低い。スポーツチームの強化によって、より近隣の人や北九州市の人は見に来てくれるし、チームを応援してくれると思う。		1
46	第3章の目指す姿の方針Ⅰ「スポーツでまちの魅力にACCESS」でプロスポーツチーム等との連携を行うとある。 ギラヴァンツ北九州をもっと売り出していき、認知度を向上させていくことやチーム自体を強くしていくことが必要なのではないかと考える。		1
47	ギラヴァンツ北九州への投資。		1
48	スポーツを「観る」という観点として、いくら地元といえど強くないと見ないと思うので、海外や日本の有名プレイヤーで現役でない方を市が協力してコーチや監督として採用し、プロチームを強くするのが良いと思う。 そうすれば憧れてスポーツを始める子どもも増え、スポーツ人口を増やすことができ、地域活性化につながると思う。	北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」や野球やバレーボール、ソフトボールなどの市ゆかりのプロスポーツチーム等の活躍は、市民のシビックプライドの醸成や青少年の健全育成、地域の活性化につながると考えます。 今後も、市をあげて北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」をはじめとした、野球やバレーボール、ソフトボールなどの市ゆかりのプロスポーツチーム等を応援してまいります。	3
49	福岡市や北九州市では最近様々なプロスポーツチームが増えてきて、とても素晴らしいことだと思うが、結果を出すことも重要だと思うので頑張ってもらいたい。例えばギラヴァンツ北九州がJ2、J1に上がることで集客力も増え、まちの発展に繋がっていくと思う。		1
50	私はサッカーが好きなので、もっとギラヴァンツ北九州に力を入れてほしい。 今より上のリーグへ行くためには、金銭的に厳しいので、オーナーやスポンサーなどに市からアピールしてほしい。ギラヴァンツ北九州が強くなれば、3つの方針の一つであるスポーツでまちの魅力にACCESS!の都市ブランド力も高められ、今よりも多くの観光客なども増える。		1

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
51	<p>ギラヴァンツ北九州を軸にした北九州市の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が当該クラブに対し、興味がない。試合開催日を認識できていない。しかしながら、ギラフェスは花火が上がるから行く！勝った日は花火を上げ、住民に認識させる！ ・AIMを通してミクスタまでで行くが、毎回閑散としている。ミクスタまでの道のりの盛り上がりが欠ける。ワクワクしない！せっかく素晴らしい道のりとなんと街角ピアノまでなのに誰も弾いていない。AIMの中も週末は閑散としている！ ・北九州では、TGCやアニメ、西日本総合展示場、小倉城、勝山公園でのイベントや、国際会議場での学会など様々なものが開催されているが、それぞれが単発で、終了後にミクスタに行こうという人がいない。連動していない。 ・新幹線の駅から近いにもかかわらず、アウェイサポの観戦客が少ない。SNSではよく門司港レトロか唐戸市場に行っている様子があげられているが、車がない人にとって駅周辺での楽しみ方がよくわからない。 ・アウェイサポは試合後、福岡市に行き、飲食をする(北九州市にお金を落とさない)私自身アウェイに行って困るのがどこで飲食をして良いかわからない。郷土料理を食べたいと思うがネット検索をしてもよくわからない。アウェイに来るのは比較的経済的にゆとりがある中高年だと思うのだが・・・ ・試合開催日、浅野公園が閑散としている。勝山公園と浅野公園でイベントが分散されている。他のチームではキッチンカーが多数集まり、公園で家族連れがシートを広げて楽しんでいるが、北九州は・・・ ・チームが強くないと住民がサッカーを見に来ない。アウェイサポーターもカテゴリーが上がれば、集客数が増える。よってチームを強くすることが必須。 ・ギラサポからいろいろな意見を募る会議を開いても良いのでは？熱心なサポーターが多いので。 	<p>北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」の活躍は、市民のシビックプライドの醸成や青少年の健全育成、地域の活性化につながると考えます。今後も、市をあげて北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」をはじめとした、野球やバレーボール、ソフトボールなどの市ゆかりのプロスポーツチーム等を応援してまいります。</p>	4
52	<p>全国、国際大会を開くことが決定したら、もっと色々なところで目に入るように宣伝すればもっと北九州市のスポーツに熱が入り、もり上がっていくと思う。 宣伝力があれば興味のない人も、行きたいと思えるようになると思う。</p>	<p>北九州市のSNSアカウントやホームページ等の幅広いメディアを活用し、北九州市の魅力あるプロスポーツ関連情報やスポーツイベント、スポーツ教室等の情報を戦略的かつ効果的に発信します。</p>	1
53	<p>大会がある日程等が分かりやすい宣伝など、もっと理解がしやすいようにしてほしい。</p>	<p>また、北九州市で開催される大規模国際スポーツ大会等を契機とし、北九州市の魅力の世界へ発信することで、国際的な認知度の向上などを図ってまいります。</p>	1
54	<p>市民がスポーツに積極的に参加するための啓発活動が必要です。</p>		1
方針Ⅱ いつでもだれでもスポーツにACCEES！			
55	<p>もっとイベントを増やしてほしいと思う。</p>		1
56	<p>学校やクラブ以外での活動の場をより作るべきだ。</p>		1
57	<p>若い人からお年寄りまで誰でも来やすい交流ができる施設やイベント等があったら良い。</p>		1
58	<p>あまりイベントへの参加意欲が無い方が気軽に参加できるような、体験型のスポーツイベントの実施を増やして良いと思う。 年齢層も子ども、学生だけでなく社会人、高齢者など。</p>	<p>北九州市のにぎわいづくりや健康増進などの観点からスポーツイベントの開催は非常に大切なことだと考えます。現在、子どもを対象とした「ドリームスポーツ体験教室」や「北九キッズスポーツAccess」の開催、スポーツ推進委員が中心となった各地域でのスポーツイベントなど、年齢層や規模間も含め、様々なスポーツイベントを開催しています。また、その他にも、大規模国際スポーツ大会の誘致開催などを通して、交流人口の拡大や地域の活性化に取り組んでいます。</p>	1
59	<p>市民が参加しやすい交流スポーツ大会を作してほしい。</p>	<p>今後も、市民の誰もが、性別や年齢、障害の有無といったそれぞれの置かれた状況に関わらず、気軽にスポーツ活動に親しむことで、ウェルビーイングの向上を実感できるよう、より魅力的な市民スポーツ活動の参加や観る機会を創出・充実させてまいります。</p>	1
60	<p>市民がもっと交流がしやすいようなイベントが、年に1回のお祭りみたいなものを作ってほしい。 スポーツ大会やちょっとしたお祭り。</p>		1
61	<p>地域住民との交流型イベントによる北九州市特有のスポーツ大会・イベントの増加で活気上昇・人口増加を狙う。</p>		1
62	<p>無料で参加できるスポーツイベントを開催することでスポーツに興味を持ってくれる人が増える。また、高齢の方と若者が交流することでおもしろい心生まれると思う。</p>		1
63	<p>学生が参加しやすいスポーツイベントを作ってほしい。 もっと北九州市が盛んになってほしい。</p>		1
64	<p>市民の誰もが楽しめるスポーツ活動の参加や観る場所・機会を増やす。</p>		1

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
65	運動をしていない人の割合の中で30代~40代が25%以上だった理由を観ると仕事と家事が忙しくて、運動する暇がないとの事だった。 どの会社にも1日1回は運動をする習慣を付けられれば良いと思う。(ラジオ体操など) また職場の近くにジムを設置できるようにすれば良いと思う。	スポーツ実施率が比較的低い傾向にある女性や若者、働く世代に向けて、「スポーツを一緒にする仲間づくり」や「スポーツをするきっかけづくり」、「スポーツをしやすい環境づくり」などを通して、気軽にスポーツにアクセスできる機会を創出します。	1
66	高齢化の中、中高年や高齢者でも楽しめる(プレー、観戦ともに)スポーツに触れる機会を醸成することで、これまで興味がなかった層への訴求、北九州市民としてのスポーツ文化の定着が図れることを期待している。 推進計画を進めていく上で、市がリーダーシップを取っていただき、あらゆる世代へのスポーツ文化の浸透に向けた広報やイベント活動の推進、より充実した施設の整備(新設)を期待する。 弊社も、ソフトボールの普及、地域貢献、ファン拡大のため、学校への課外授業や講習会への派遣、その他イベント等への参画など、可能な限り積極的に活動していく所存である。	スポーツ活動等へ積極的なご協力ありがとうございます。 今後は、この計画の方針に沿った施策を進め、観るスポーツの機会充実やいつでもだれもが気軽にスポーツにアクセスできる環境づくりなどに取り組むことで、豊かで未来輝く市民生活の実現と地域・経済の活性化を促すことで、まちの成長を目指してまいります。	1
67	方針Ⅱにある「女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出」についてとても良い案だと思う。 スポーツ活動を考案する際、子どもや高齢者がターゲットになる場合が多いと感じている。 社会を支えている人たちの息抜きの1つとして実現されると良いなと思っている。		1
68	スポーツを通じた健康づくりの意識向上が重要だと思う。		1
69	最近子どもでも外で身体を動かす機会が減っているので全世代向けのラジオ体操や、地域の方々との交流も含めた運動プログラムをしたら生活習慣病の予防とまちの盛り上がりにも繋がると思う。	スポーツを通じた心と身体の健全な発達に資するため、市民がそれぞれのライフスタイルにおいて、達成感や爽快感の実感、ストレス解消、体力向上などといった目的に応じたスポーツ活動を推進します。	1
70	スポーツが地域の活性化に貢献することはとても重要ではあるけど、国際大会や大規模なスポーツイベントの誘致だけでなく、北九州市民が日常的に参加できるようなイベントなどが必要だと考える。 地域住民が積極的にスポーツに参加していけば、地域コミュニティが更に強まるし、健康寿命をのばすことにもつながる。		1
71	スポーツをしている人として社会人向けや子ども向けの大会を競技別に開催してほしい。 スポーツクラブやチームは多くあるが試合をする時は県外に行く場合が多いため身近に大会を行ってほしい。	多くの市民の皆さんにスポーツやレクリエーションの楽しさを実感していただくことを目的とした市民スポーツ大会の開催や各種競技団体への支援などを実施してまいります。	1
72	障害者スポーツもきちんと位置づけしてほしい。北九州市発祥の風船バレーの普及に力を入れてほしい。	障害者スポーツの普及は、施策2-(5)に位置付けており、非常に大事なことだと考えます。 パラスポーツ指導者の育成・活用及び資質の向上などを図り、ふうせんバレーを含め、障害者スポーツを促進します。	1
73	いつでもどこでもその場にあるものなどで代用して手や足が不自由な子でも笑えるスポーツやそのスポーツの活躍によってより良いまじにできるという仕組みをすればもっとスポーツが楽しくなると思う。	障害のある人も、ない人も、ともに同じスポーツに親しみ、交流できるスポーツ活動機会を拡充するとともに、市ゆかりのプロスポーツチーム等と触れ合うことなどで、共生社会の促進を図ります。また、障害のある人や高齢者などが、障害の有無や程度、年齢等に関わらず、それぞれの身体状況やニーズに応じて、より身近に、より積極的にスポーツ活動に親しめる環境や機会を拡充します。	4

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
74	誰でも使えるスポーツ施設をつくってほしい。		1
75	誰もが気軽に利用することのできるスポーツ施設を増やす。		1
76	スポーツは障害者や高齢者様々なバックグラウンドを持つ人々を含む全ての人々に対して開かれるべき。 誰もが参加できるスポーツ環境を整えることが、現代社会の課題である。 例えば障害者専用のスポーツ施設やプログラムだけでなく、一般のスポーツ施設がバリアフリー化されることが望まれる。	誰もが気軽にスポーツ施設が利用できる機会・場の充実は非常に大事なことだと考えます。 高齢者や障害のある人をはじめ、全ての市民が、「わかりやすい」「利用しやすい」スポーツ施設となるようユニバーサルデザイン化を促進します。	1
77	施策3の気軽にスポーツに親しめる場の充実の(1)にスポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取組の促進とある。確かにすべてに人が分かりやすく利用するのは大事なことだと思うが、促進をしすぎると予算がかかりすぎる為、利用が多く見込まれる施設だけをユニバーサルデザイン化していけば良いと思う。 また未来都市の為に持続可能なスポーツ施設を目指すことはとても良いと感じた。 これからの為に省エネ、節水など限りがある物を大切に、未来の都市のことを考えていることは大変素晴らしいと感じた。	また、SDGs 未来都市として持続可能なスポーツ施設を目指すため、施設の更新時や大規模改修時には先進的な省エネ・創エネ技術の導入を検討するなど、時代に即した環境にやさしい取組を進めてまいります。	1
78	若い人、老人までが楽しむ事を目標にしているが施設が古くバリアフリー対策が遅れていると感じたので新しくするべき。 そして今の施設には限度があるのでもう少し広い施設にしてほしい。		1
79	スポーツ(少なくともオリンピック、パラリンピック、デフリンピックで行われている競技)を練習したり、それらのスポーツで遊べたりすることができる場所が、それらのスポーツごとに、どこにあるかを市民に示すことを提案する。	スポーツに関する情報発信は非常に大事なことだと考えます。 北九州市のSNSアカウントやホームページ等の幅広いメディアを活用し、北九州市の魅力あるプロスポーツ関連情報やスポーツイベント、スポーツ教室等の情報を効果的に発信します。	1
80	体育館をネット予約できるようにしてほしい。	ご意見を踏まえ、方針Ⅱ 施策3(3)に「インターネット予約の機能拡充」を追記し、多様なライフスタイルに対応できるよう、効率的な予約方法について検討します。	2
81	近年、環境保護の観点からもスポーツイベントやインフラ整備が持続可能であるべきとの声が高まっている。	SDGs未来都市として持続可能なスポーツ施設を目指すため、施設の更新時や大規模改修時には先進的な省エネ・創エネ技術の導入を検討するなど、時代に即した環境にやさしい取組を進めてまいります。 そして、北九州市のスポーツを維持・発展させるためにも、社会情勢や市民ニーズに応じて、財政の模様替えや制度の見直しなど、迅速・柔軟に対応していく必要があります。いただいたご意見を踏まえ、方針Ⅱ 施策3(3)に「で持続可能」「活動の環境」を追記します。	2
82	学校体育館施設の有効活用をしていくのもとても良いと思う。	北九州市はこれまで、市民が気軽にスポーツ活動や健康づくりに親しめるよう、学校体育施設を地域スポーツ活動の場として市民に開放する地域に根差した取組を行っています。 今後も、学校教育に支障のない範囲で小学校及び中学校の体育施設を有効活用します。	1

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況	
83	実際に競技を行うことのできる施設を増やし、始めるきっかけを作る必要があると考える。	北九州市のスポーツを維持・発展させるためにも、社会情勢や市民ニーズに応じて、財政の模様替えや制度の見直しなど、迅速・柔軟に対応していく必要があります。こうしたことから、スポーツ施設のあり方については、「北九州市市政変革推進プラン」や「北九州市公共施設マネジメント」等を踏まえ、選択と集中の観点を考慮して検討してまいります。また、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて、身近で安心してスポーツ施設を利用でき、気軽にスポーツにアクセスできるよう、スポーツ施設の効率的かつフレキシブルな運用について検討します。さらには、公園やまちなかのオープンスペースなどにおいて、身体を動かした遊びや、心身のリフレッシュのための軽い運動を行う場の提供に必要な仕組みづくりや環境づくりを進めるとともに、産学官連携による企業や大学等の施設の活用などの検討を進めてまいります。	3	
84	スポーツ観戦を出来る施設をもっと、色んなところで作ってほしい。		3	
85	スポーツ施設を増やして欲しい。		3	
86	しっかりとした設備の整ったグラウンドや体育館をもっと多く増やすと良いと思う。		3	
87	公園などでスポーツが出来る所を増やす。		3	
88	運動する施設や運動公園などが増えてほしい。		3	
89	スポーツ施設を増やしてほしい。		3	
90	学校体育施設を有効活用するのは大変良いことだと思うが、それだけでなく、市民体育施設などをもっと設置して欲しい。		3	
91	北九州市で自由に使える市民プールの値段が高い。鹿児島に住んでいたが、300円できれいで大きなプールが使用できていた。7,8月は安い可他の月は値段が高すぎて使う気にならない。新しいプールを作ることで市民の健康増進につながると思う。そして駅近にすることにより、車を持たない学生なども長期休みや土日など利用することができる。		3	
92	このスポーツ施設などをもっと広げていくことによってまちが活気づく未来を目指す取組にとっても期待している。また、交流の場を増やしていくことによって活性化に大きく貢献できると考える。		3	
93	もっとスポーツ施設を増やしていけば、まちがより活気づくと思う。また、地域の人との交流の場を増やしていくことによって、さらなる活性化が期待できると考えた。		3	
94	スポーツを無償で行える、施設の建設。無償化が厳しくても安い値段がコース料金で使用しやすい物にしたい。		3	
95	体育館施設の営業時間を延ばしてほしい。日中利用できない人のために、夜開いている運動施設がほしい。		ご意見を踏まえ、方針Ⅱ 施策3(3)に「利用時間等の」を追記し、多様なライフスタイルに対応できるよう、スポーツ施設のフレキシブルな運用方法について検討します。	2
96	福岡市に比べ北九州市はスポーツが出来る屋外の公園が少ない。そのため営業時間のある市の施設に行くしかなくなり、スポーツをする機会が減る。また、福岡市の時は屋外コートで運動をするため、全く知らない人とのコミュニケーションが発生し、一人で行って誰か知らぬ人と運動ができた。(バスケットやサッカーなど器具が必要なスポーツ用コート)		公園やまちなかのオープンスペースなどにおいて、身体を動かした遊びや、心身のリフレッシュのための軽い運動を行う場の提供に必要な仕組みづくりや環境づくりを進めてまいります。また、産学官連携による企業や大学等の施設の活用などの検討を進めてまいります。	1
97	スポーツジムをもう少し増やし低額のジムをつくることで、スポーツに関心を持つ人が多くなると思う。	スポーツに関心を持つ人が多くなることは非常に大事なことだと考えます。民間事業者が運営しているスポーツジムの他にも、気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでまいります。	5	
98	市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりのため、スポーツ施設等での暑さ対策など、環境変化への対応について、記載すべきではないか。	ご意見を踏まえ、方針Ⅱ 施策3(1)に「するとともに、スポーツ環境の改善に努めます。」を追記し、スポーツを取り巻く環境の変化に対応してまいります。	2	

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
方針Ⅲ スポーツで未来にACCEES!			
99	中学生の1年間は部活動を強制入部させ、部活に参加するしないは本人の努力義務とする。 中学・高校にもサークルを作り、部活ほど本気でやりたくない人でもスポーツに参加できるようにする。 北九州市の政策として学校に課するのが良いと思う。	子どものスポーツの機会を設けることは重要ですが、部活動は生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであり、今後もこの考え方に沿って取組を進めてまいります。	1
100	子どもや若者にとって、スポーツは身体的発達だけでなく、チームワークやフェアプレイ精神を学ぶ機会でもある。スポーツ推進計画が学校や地域レベルでしっかりと実施されることが望まれる。	ご意見のとおり、子どものスポーツの機会を設けることは重要な視点と考えています。 本市としては、教育委員会等の関係機関や総合型地域スポーツクラブ等と連携することで、幼児・児童・生徒が成長に応じた運動・スポーツに親しむ機会の充実を図ってまいります。	1
101	小学生から高校生までの幅広い年齢層が楽しめるような多様なスポーツの選択肢を提供すること。		1
102	小さい頃からスポーツに触れ合っていくことが大切だと思う。		1
103	子どもにスポーツに触れ合ってもらうことが大切だと思う。		1
104	若年層におけるスポーツ参加を促進するため学校内外でのスポーツプログラムをさらに充実させる必要がある。		1
105	外遊びをする子どもが減っている中で、その問題に強く取り組まないとスポーツによるまちづくりの推進や活性化とは言えない。		子どもがそれぞれの個性や可能性に応じたスポーツをはじめきっかけづくりとなるよう、子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実を図ってまいります。
106	実際にスポーツをあまりしたことがない子どもはたくさんおり、実際にやってみることが大きなきっかけになると考える。		4
107	少子化が進む中、各スポーツ競技では競技人口増に課題を持っていると思うが、子ども達にあらゆるスポーツを身近に感じてもらう選択してもらえる環境づくりが重要と考えている。	子どもたちが多様なスポーツの経験をすることは重要であると考えます。いただいたご意見を踏まえ、方針Ⅲ 施策4(2)に「多様な」を追記します。	2
108	特定の競技に偏らず、多様なスポーツ経験を積む機会を増やすことが、将来の優れた選手育成につながると考える。		2
109	地域のお店と協力し子どものためのスポーツイベントを開く。子どもが楽しいと思えばそこからスポーツをはじめ北九州市のスポーツ人口が増え試合観戦などの人も増えるから。	幼児期から運動やスポーツをする環境を整えることで、運動が好きな子どもや日常的な運動習慣を持つ子どもを増加させることは、重要であると考えています。 また、プロスポーツチーム等の試合や大規模国際スポーツ大会等の観戦により、子どもたちが本物のスポーツにアクセスする機会を提供することで、子どもたちがスポーツに親しみ、スポーツへの関心を高める取組も進めてまいります。	3
110	子ども達が運動不足気味になっているのは娯楽が増えたのが主な原因だがスポーツに関心がなくなっていると自分は思う。そのため、スポーツは楽しいものだと思ってもらえるようなイベントを行えば良いと思う。		3

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
111	中学生や高校生でもプロとの交流をする機会をふやしてあげたら良いと思う。	北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」をはじめとした市ゆかりのプロスポーツチーム等の試合観戦などにより、子どもたちが本物のスポーツにアクセスする機会を提供し、青少年の健全育成につなげてまいります。	1
112	スポーツクラブとプロの交流は多いが学校との交流が少ないと思うので、プロと学校のつながりを増やしたほうが良いと思う。		1
113	ギラヴァンツ北九州などのプロスポーツ選手たちと遊んだり、教えてもらえるイベントなどを多くすると良いと思う。		1
114	ギラヴァンツと協力し、子どもから大人までのサッカー教室や体験会などを行えば、スポーツをする人が増えてアスリートが多く誕生しやすいと思う。		1
115	また、福岡ソフトバンクホークスとコラボし有名な選手との交流と一緒に野球をし野球の楽しさなどを伝える。		1
116	スポーツの経験がある人が指導者になることでレベルの高い指導ができる環境になるとスポーツが盛んになると思う。	指導者の育成・資質向上は非常に大事なことだと考えます。指導者の育成・活用及び資質向上を図るとともに、気軽にスポーツに親しめる環境や機会を拡充することなどにより、スポーツ活動を盛り上げてまいります。	1
117	人気スポーツだけでなくマイナースポーツも広めることはできるのか。	人気スポーツだけではなく、市民誰もが多様なスポーツにアクセスできることは重要なことと考えています。いただいたご意見を踏まえ、方針Ⅲ 施策5(5)に「(ニュースポーツ等)」を追記します。	2
118	北九州市は政令市で一番高齢化しているまちだからこそ、ニュースポーツ等の高齢者にターゲットを当てた取組をしたほうが良いのではないかと。		2
119	様々なスポーツ少年団を作って北九州市をスポーツで盛んな地域する取組を増やしてもらえたらうれしい。	生涯スポーツや競技スポーツ、パラスポーツといったそれぞれの分野でスポーツを支える人材の育成・活用及び資質向上に向けた取組を進めることで、市民誰もがスポーツにアクセスできる環境を高めてまいります。	4
120	まちを活性化するには地域の力が必要だと思った。	地域スポーツを支える人材の活躍の場づくりを行う団体の活動を支援することで、市民のスポーツ活動の充実を図ってまいります。	4
121	19ページに学生・生徒がスポーツボランティア活動と書いているが、人に頼ることを前提で考えているのが不思議。	スポーツの振興に当たっては、スポーツをする人、観る人、支える人など、多様な形でスポーツにかかわる人々を支援する必要があります。本計画におきましても、施策5「スポーツを支える人材の活躍の場の充実」の中にボランティアを位置づけ、スポーツに多様な形で参画できる環境づくりに取り組んでまいります。	5
その他			
122	最近はeスポーツもスポーツとして認められ始めている。さらに少しずつ注目も集めていると思うのでそっちの方面にも触れていっても良いのかなと感じた。	本計画においては、スポーツを取り巻く環境変化が激しいことを踏まえ、個別具体的な事業レベルではなく、スポーツ振興が目指す大きな方向性を定めています。北九州市としては国の動き等を注視しつつ、スポーツ施策を進めてまいります。	5
123	オリンピックで性別問題があったが、もし北九州市であったとききちんとした対応ができるのか。		5
124	利用調整のルール改善 現状のルールでは県大会以上の大会等が対象であり、北九州市の施設を北九州市のスポーツ団体が思うように利用できないという問題点がある。市内大会であっても、競技団体の事情を踏まえ、県大会と同等に扱うなどのルール緩和をお願いしたい。	施設の利用調整は、大会の性格や利用団体の事情等を踏まえた極めて慎重な調整を要する事項です。いただいたご意見も含め、今後の参考とさせていただきます。	5

北九州市スポーツ推進計画(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】

- 1 計画に掲載済
- 2 追加・修正あり
- 3 今後の参考とするもの
- 4 追加・修正なし
- 5 その他

NO	市民意見	市の考え方	反映状況
125	本城運動場の人工芝化 天然芝はケガのリスクも少なく競技者にとっては大変良いものであるが、一方で利用時間や日数に制限がある。人工芝であれば、午前と午後で別競技の大会等を開催できるなどのメリットがある。県営春日球技場は数年前に最新の人工芝に張り替えられ、多くの競技者に利用され、大きな大会を誘致することができている。現在の人工芝の技術は大変進化しており、プレーの際には天然芝と遜色ないレベルで使用できる。		5
126	ミクニワールドスタジアム北九州にサブグラウンド整備 新たな土地取得は難しいと思われるが、これからミクニスタジアムを有効利用していくにはサブグラウンド整備は必須。現在の「あさの潮風公園」横の東側道路をつがして横幅を確保し、人工芝のサブグラウンドを整備してほしい。	安全安心なスポーツ施設を維持していくための改修や整備については、非常に重要であると認識しております。 北九州市のスポーツを維持・発展させるためにも、社会情勢や市民ニーズに応じて、財政の模様替えや制度の見直しなど、迅速・柔軟に対応していく必要があります。 こうしたことから、スポーツ施設のあり方については、「北九州市市政変革推進プラン」や「北九州市公共施設マネジメント」等を踏まえ、財源などを有効に活用できるよう、選択と集中の観点を考慮して検討してまいります。	5
127	新門司スポーツ施設の付帯施設整備 過去にも写真付きで報告しているが、人工芝、天然芝共にグラウンド自体は素晴らしいものであるが、選手のベンチ、屋根が無く、雨の場合は選手にとって劣悪な環境となる。トイレも圧倒的に足りていない。付帯施設の整備をお願いしたい。		5
128	若松市民グラウンドの再整備 球技場、テニス場、軟式野球場と一か所に詰め込んでいるので、大会が重なった際は駐車場が全く足りない。枠外に駐車しても入りきれていない。ひびきコスモス運動場と併せて、スポーツごとに役割を振り分けるなどの再整備を希望する。		5
129	1つのグラウンドを複数のスポーツでシェアすることは難しい。 野球、ソフトボール用に転圧した固い土のグラウンドで、ラグビー、サッカーをすることは困難。		5
130	北九州マラソン開催時、道路を通行止めになり、車が通れずとても不便。	北九州マラソンの開催により通行止めを行い市民の皆様にご不便をおかけしています。 北九州マラソンは、市の一大スポーツイベントであり、多くの経済効果をもたらしています。 運営の工夫などにより、最小限の通行止めになるよう検討してまいります。	5

北九州市スポーツ推進計画の概要

- 新ビジョンの重点戦略「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」を踏まえた3つの方針を柱立て。
- 3つの方針に沿って、これまでの取組も踏まえた施策を進めていくとともに、その中でも「スポーツで稼げるまちの実現」の視点を強化する。
- スポーツを取り巻く環境変化が激しいことを踏まえ、個別具体的な事業レベルではなく、スポーツ振興が目指す大きな方向性を定め、行政や関係団体、企業や市民とのベクトルを合わせるための計画とする。



方針Ⅰ・方針Ⅱ・方針Ⅲが連動し、プラスに作用することで、スポーツで「まちが成長」の好循環につなげます。

<p>目指す姿</p>	<p>市民誰もが生涯を通してスポーツに親しみ元気になることで、豊かで未来輝く市民生活の実現を図る。 また、スポーツの力で都市の魅力を上げて、国内外から多様な人々を惹きつけ、地域・経済の活性化を促すことで、まちの成長を目指す。</p>		<p>計画期間</p>	<p>令和7年度から令和11年度(5年間)</p>
<p>コンセプト</p>	<p>スポーツ ACCESS都市 北九州</p>		<p>目標</p>	<p>①スポーツを身近に感じる市民の割合 70%(令和11年度目標)(令和4年度:44.4%) ②スポーツ実施率 70%(令和11年度目標)(令和4年度:56.6%) ③スポーツ観戦率 40%(令和11年度目標)(令和4年度:20.0%) ④観光消費額 1,800億円(令和10年度目標)(令和4年:827億円)</p>
<p>方針</p>	<p>⚽ <<方針Ⅰ>> 重点方針 スポーツでまちの魅力にACCESS!</p>	<p>🏃 <<方針Ⅱ>> いつでもだれもがスポーツにACCESS!</p>	<p>👨👩👧 <<方針Ⅲ>> スポーツで未来にACCESS!</p>	
<p>考え方</p>	<p>一歩先を見据えた新たなスポーツコンテンツを創出し、都市ブランド力を高め、スポーツで稼げるまちを実現する</p>	<p>市民のスポーツ活動を推進し、気軽にスポーツに親しめる場を充実させ、ウェルビーイングを実現する</p>	<p>子どもの個性や可能性をはぐくみ、スポーツを支える人材とともに、まちの活力や魅力を向上させる</p>	
<p>施策</p>	<p>施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 観るスポーツの機会充実 ② スポーツによるまちの活性化の推進 ③ 大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催支援 ④ スポーツツーリズムの推進 ⑤ 都市の魅力を高めるスポーツの振興 ⑥ プロスポーツチーム等・アスリートの応援機運の醸成 ⑦ 興行ニーズに対応した開催環境づくり ⑧ プロスポーツチーム等との連携による地域活性化 ⑨ 戦略的プロモーションにつながる効果的な情報発信 	<p>施策2 市民のスポーツ活動の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市民のスポーツ活動の参加や観る機会の創出・充実 ② 女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出 ③ スポーツを通じた心と身体の健全な発達 ④ 競技スポーツの支援 ⑤ インクルーシブスポーツ(障害のある人などのスポーツ活動)の推進 <p>施策3 気軽にスポーツに親しめる場の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取組の促進 ② 学校体育施設の有効活用 ③ 多様なライフスタイルに対応したスポーツ施設の運用 ④ 公園など身近な運動の場の提供 ⑤ 産学官連携によるスポーツ環境の創出 	<p>施策4 子どものスポーツ活動の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校体育による子どもの体力向上 ② 子どもの個性や可能性を引き出す運動・スポーツに親しむ機会の充実 ③ 子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実 <p>施策5 スポーツを支える人材の活躍の場の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スポーツ推進委員・スポーツ指導者・パラスポーツ指導者の育成・活用及び資質向上 ② 地域スポーツを支える団体(北九州市スポーツ協会等)の活動の充実 ③ 大学等との連携による地域スポーツを支える人材の育成・拡充・支援 ④ プロスポーツチーム等と大学等との連携によるスポーツボランティア活動などの場づくり 	

北九州市スポーツ推進計画 最終案

令和6(2024)年12月

北九州市

はじめに

北九州市は、昭和38(1963)年、九州初の「百万都市」、
「政令指定都市」として誕生しました。その翌年の昭和39
(1964)年には東京五輪が開催され、市内企業の選手の活
躍などにより、スポーツは北九州市のまちの一体感とシビ
ックプライドの醸成に大きな役割を果たしてきました。

また、市としても、市民のスポーツ活動機会の創出・拡大
やプロスポーツ観戦機会の増大、スポーツ施設の整備など
の様々なスポーツ施策を関係機関や競技団体等の関係者
と連携・協力を図りながら取り組んできました。

今後は、スポーツによるまちづくりをさらに進めるため、だれもが気軽にスポーツに親しめ
る環境づくりやプロスポーツチーム等との連携、アーバンスポーツの普及・振興、大規模国際
スポーツ大会のさらなる開催などにより、スポーツを通じた「一歩先の価値観」を体現できる
取組を進めることが重要です。

北九州市では、令和6(2024)年3月に「北九州市基本構想・基本計画」を策定し、新たなま
ちづくりをスタートさせたところです。

今回策定した「北九州市スポーツ推進計画」は、スポーツを取り巻く環境変化が激しいこと
を踏まえ、北九州市基本構想が目指す都市像の実現に向けて、市民の皆様や競技団体、企業
など関係の皆様とベクトルを合わせ、スポーツ関連施策を共に力強く進めていくための指針
としています。

スポーツは、人々の生活や心を豊かにする「ウェルビーイング」の観点を持つのみならず、
様々な社会課題を解決できる「社会活性化等に寄与する価値」を持ち、経済や社会を元気に
する「大きなエンジン」にもなります。

今後は、本計画のコンセプトである「スポーツ ACCESS都市 北九州」を合言葉に、スポー
ツが持つ魅力とチカラを最大限に発揮することで「スポーツで稼ぐ」を実現し、「豊かで未来輝
く市民生活」と「まちの成長」の好循環につなげてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力をいただいた、北九州市スポーツ推進計画
策定検討会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様に、心より感謝申
し上げます。



令和 年 月

北九州市長 武内 和久

目次

はじめに

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画期間	2
4 計画におけるスポーツの範囲	2
5 スポーツの価値・効果	2
第2章 北九州市のスポーツ推進に関する動向等	3
1 社会情勢等	3
2 北九州市のスポーツの現状	4
(1) 北九州市におけるスポーツの特性	4
(2) 北九州市におけるスポーツの強み・ポテンシャル	5
(3) 北九州市のスポーツ関連の主な取組(北九州市スポーツ振興計画の策定以降)	7
(4) 市政変革の視点	8
第3章 目指す姿と3つの方針	9
1 目指す姿／コンセプト	9
2 目指す姿の実現に向けた3つの方針	10
第4章 施策体系図	11
第5章 主要施策	12
方針 I スポーツでまちの魅力に ACCESS !	12
施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上	12
(1) 観るスポーツの機会充実	12
(2) スポーツによるまちの活性化の推進	12
(3) 大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催支援	12
(4) スポーツツーリズムの推進	13
(5) 都市の魅力を高めるスポーツの振興	13
(6) プロスポーツチーム等・アスリートの応援機運の醸成	13
(7) 興行ニーズに対応した開催環境づくり	13
(8) プロスポーツチーム等との連携による地域活性化	14
(9) 戦略的プロモーションにつながる効果的な情報発信	14

方針Ⅱ いつでもだれもがスポーツに ACCESS !	15
施策2 市民のスポーツ活動の推進	15
(1) 市民のスポーツ活動の参加や観る機会の創出・充実	15
(2) 女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出	15
(3) スポーツを通じた心と身体の健全な発達	15
(4) 競技スポーツの支援	15
(5) インクルーシブスポーツ(障害のある人などのスポーツ活動)の推進	16
施策3 気軽にスポーツに親しめる場の充実	16
(1) スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取組の促進	16
(2) 学校体育施設の有効活用	16
(3) 多様なライフスタイルに対応したスポーツ施設の運用	16
(4) 公園など身近な運動の場の提供	17
(5) 産学官連携によるスポーツ環境の創出	17
方針Ⅲ スポーツで未来に ACCESS !	18
施策4 子どものスポーツ活動の推進	18
(1) 学校体育による子どもの体力向上	18
(2) 子どもの個性や可能性を引き出す運動・スポーツに親しむ機会の充実	18
(3) 子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実	18
施策5 スポーツを支える人材の活躍の場の充実	19
(1) スポーツ推進委員・スポーツ指導者・パラスポーツ指導者の育成・活用及び資質向上	19
(2) 地域スポーツを支える団体(北九州市スポーツ協会等)の活動の充実	19
(3) 大学等との連携による地域スポーツを支える人材の育成・拡充・支援	19
(4) プロスポーツチーム等と大学等との連携によるスポーツボランティア活動などの場づくり	19
第6章 計画の目標	20
1 計画の目標	20
資料編 参考データ・用語集	21
1 北九州市民スポーツ実態調査	22
(1) 調査の概要	22
(2) 調査結果	23
2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査	33
(1) 調査の概要	33
(2) 調査結果	34
3 市内スポーツ施設情報	35
4 北九州市スポーツ推進計画策定過程	36
(1) 策定の過程	36
(2) 北九州市スポーツ推進計画策定検討会委員	37
5 用語集	38

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

北九州市では、平成28(2016)年9月に「北九州市スポーツ振興計画」(平成23(2011)年9月策定)を改訂し、「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造とスポーツを通じた元気なまちづくりの推進」を基本理念に掲げ、スポーツの振興に取り組んできました。

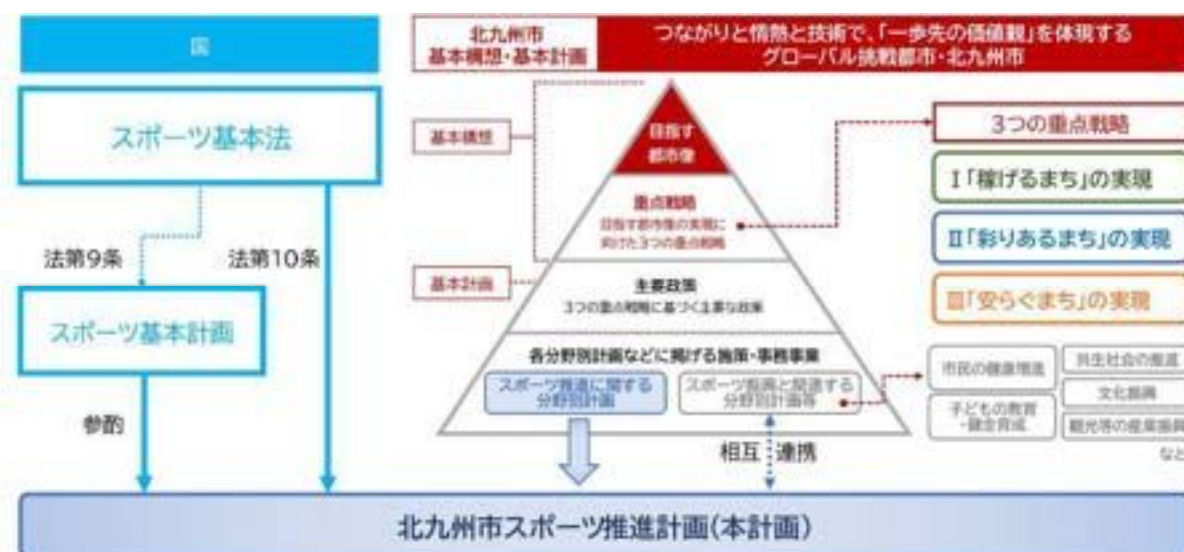
そのような中、北九州市では、令和6(2024)年3月にこれからの市政運営の指針となる「北九州市基本構想・基本計画」を策定し、北九州市が目指す都市像として『つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市』を掲げました。

また、目指す都市像の実現に向けた3つの重点戦略として、「稼げるまち」の実現、「彩りあるまち」の実現、「安らぐまち」の実現を定め、「成長と幸福の好循環」を生み出すための取組を進めています。

このような目指す都市像や重点戦略の実現にスポーツの分野からアプローチし、市民や団体、企業などが一丸となって、スポーツの持つ力で「豊かで未来輝く市民生活」と「まちの成長」の好循環を目指すため、新たに「北九州市スポーツ推進計画」を策定しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、「北九州市基本構想・基本計画」の重点戦略や主要施策を反映した、スポーツ推進に関する分野別計画になります。また、国が定める「スポーツ基本法」に基づく、「地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」に位置付けるものです。



北九州市基本構想・基本計画における「稼げるまち」の実現に向けた戦略について

「稼げるまち」の実現に向けた戦略として、第1ステップとしては、北九州市を知ってもらうことが重要となります。観光やエンターテインメント、スポーツなどのサービスを強化して、北九州市の魅力や新たな動きを広く市内外に発信していきます。第2ステップとしては、様々な企業や人材に来てもらって、始めてもらうこと。第3ステップでは、企業や人材の集積が次の集積を呼んでいくメカニズムをつくり、定着してもらうこと。こうした戦略によって、取り組むべきベクトルを合わせながら、産学官民の力を結集して、「彩りあるまち」や「安らぐまち」の実現につなげていきます。

3 計画期間

本計画の計画期間は、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とします。
なお、スポーツを取り巻く環境の変化等に対応するため、必要に応じて計画期間内において、見直しを行うこととします。

4 計画におけるスポーツの範囲

平成23(2011)年に施行されたスポーツ基本法の前文冒頭において「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と記されており、国の第3期スポーツ基本計画では、「スポーツ」には、競技スポーツに加え、散歩やダンス・健康体操、ハイキング・サイクリング、野外活動やスポーツ・レクリエーション活動も含まれており、「文化としての身体活動」を意味する広い概念とされています。

本計画においても、「スポーツ」の範囲を国が定める範囲を基本としつつ、北九州市の地域特性や時代・環境の変化などを考慮して判断します。

5 スポーツの価値・効果

スポーツは、個人レベルでは心身の健全な発達や体力向上、健康寿命の延伸につながるだけでなく、スポーツを通じた達成感や爽快感を得ることができ、ストレス解消や精神的な充実感をもたらします。また、社会レベルでは、地域コミュニティの強化、経済活性化、まちのにぎわいの創出にもつながります。ほかにも、礼儀や協調性を学ぶことができる教育的価値や、スポーツを通じた国際交流による国際的価値など、多種多様な価値があります。

第2章 北九州市のスポーツ推進に関する動向等

1 社会情勢等

国では、平成23(2011)年8月に施行された「スポーツ基本法」に基づき、令和4(2022)年3月に「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。

この計画では、社会情勢の変化やスポーツを取り巻く環境に対応し、持続可能な社会の実現を目指していくため、「する」「みる」「ささえる」視点に加え、スポーツで「つくる／はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」といった新たな3つの視点が追加されました。

このような視点を踏まえ、持続可能な社会の実現を目指すべく、社会情勢等の変化をすばやく的確にとらえ、スポーツを推進していくことが求められています。

そして現在、人口減少・少子高齢化の進行をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化、コロナ禍における東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことなどにより、スポーツが社会活性化にもたらす価値を再認識することができました。

そのような社会情勢等を背景に、スポーツ庁は、日本の未来を切り拓く「スポーツ立国」の実現に向け、子どもがスポーツに親しむ機会を守るための部活動の地域移行や、共生社会実現に向けた障害者スポーツの理解啓発などに取り組むこととしています。また、「モノ」から「コト」への国民の消費トレンドの変化や、東京オリンピック・パラリンピックなどの大規模国際スポーツ大会等の開催を契機としたスポーツ関連消費や投機が高まる機会を活かし、スポーツを「産業」の一つとして捉え、スポーツの「成長産業化」を目指しています。

2 北九州市のスポーツの現状

(1) 北九州市におけるスポーツの特性

北九州市が発足した翌年の昭和39(1964)年10月に東京五輪が開催され、市内の八幡製鐵所から陸上、水泳、サッカー、バレーボールに計18人の選手が出場し、水泳やバレーボールのメダル獲得に貢献しました。これに象徴されるように、北九州市のスポーツは企業チームを中心に活発に活動が行われ、野球やラグビーでも全国レベルの活躍をみせていました。また、高校スポーツにおいても、全国で通用するチームや選手が次々に生まれました。

他方で、生涯スポーツの大切さも重視されるようになり、平成以降は、高齢者の健康づくりや、子どもたちに多様な競技を体験できることで運動を好きになってもらう取組も広がってきました。

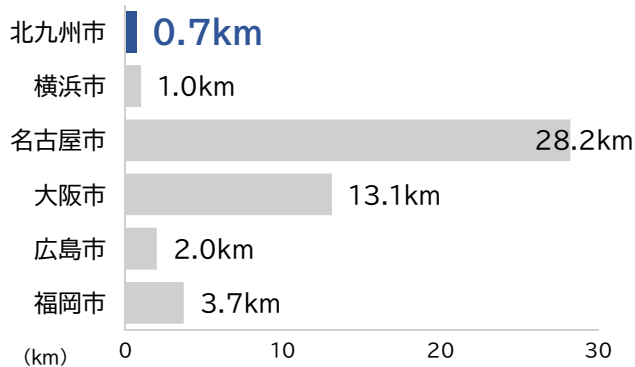
さらには、市制50周年記念事業のフィナーレとして始まった北九州マラソンでは、市民ランナーを中心に全国から1万人を超える人が集まり、それ以降、北九州市を象徴するスポーツ大会として、毎年開催されています。

また、近年では、2021世界体操・新体操選手権北九州大会の開催をはじめ、大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催に積極的に取り組んでいます。

(2) 北九州市におけるスポーツの強み・ポテンシャル

●立地最高の“駅チカ・海チカ”のスタジアムである北九州スタジアム

各都市の主要駅からスタジアムまでの距離比較



※JR 小倉駅から北九州スタジアムまで徒歩約7分

(出典)各都市の新幹線「のぞみ」停車駅から主要スタジアムまでの直線距離を google map にて測定

●プロスポーツコンテンツが多彩な都市環境



ギラヴァンツ北九州
(サッカー)



ボルクバレット北九州
(フットサル)



北九州下関フェニックス
(野球)



タカギ北九州
ウォーターウェーブ
(ソフトボール)



福岡ソフトバンク
ホークス(野球)



日本製鉄
堺ブレイザーズ
(バレーボール)



ライジング
ゼファーフクオカ
(バスケットボール)

●大規模国際スポーツ大会等開催経験における国内外での高い評価

▼バレーボールネーションズリーグ2024 福岡大会



▼WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州



ツール・ド・九州2023▲

▼2021世界体操・新体操選手権 北九州大会



(3) 北九州市のスポーツ関連の主な取組(北九州市スポーツ振興計画の策定以降)

時期	主な取組
平成 23 年 9 月	北九州市スポーツ振興計画策定
平成 24 年 4 月	北九州市障害者スポーツセンター アレアス 供用開始
平成 26 年 2 月	北九州マラソン第 1 回大会開催
平成 28 年 9 月	北九州市スポーツ振興計画改定
平成 28 年 9 月	浅生スポーツセンター供用開始
平成 29 年 2 月	北九州スタジアム供用開始
平成 29 年 2 月	JAPAN RUGBY DREAM MATCH 2017 開催
平成 30 年 6 月	2018 ITTF ワールドツアー LION 卓球ジャパンオープン萩村杯開催
平成 30 年 9 月	北九州 2018 ワールドパラパワーリフティング アジア-オセアニアオープン選手権大会開催
平成 31 年 2 月	女子テニス国別対抗戦 フェドカップ(日本対スペイン)開催
令和元年 9 月	ラグビーワールドカップ 2019 ウェールズ代表キャンプ受け入れ
令和元年 11 月	サッカー女子日本代表 MS&AD カップ 2019(日本対南アフリカ)開催
令和 2 年 4 月	城山緑地アーチェリー場供用開始
令和 2 年 6 月	桃園市民プール供用開始
令和 3 年 3 月	サッカーU-24 日本代表 国際親善試合(日本対アルゼンチン)開催
令和 3 年 4 月	曾根臨海運動場供用開始
令和 3 年 7 月～8 月	東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受け入れ
令和 3 年 10 月	2021 世界体操・新体操選手権北九州大会開催
令和 4 年 6 月	ラグビー日本代表「リポビタン D チャレンジカップ 2022」(日本対ウルグアイ)開催
令和 5 年 2 月	WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州 開催
令和 5 年 9 月	新門司第2グラウンド供用開始
令和 5 年 9 月	サッカー女子日本代表国際親善試合(日本対アルゼンチン)開催
令和 5 年 10 月	ツール・ド・九州 2023 開催
令和 6 年 3 月	サッカーU-23 日本代表国際親善試合(日本対ウクライナ)開催

(4) 市政変革の視点

北九州市では、社会経済上及び財政上の様々な課題に直面しており、未来への挑戦を続ける都市としての持続可能性を保ち、安心安定した生活環境を次世代に引き継ぐためには、行財政運営のあり方を変革する必要があります。

北九州市が取り組む市政変革は、「もっぱら『削る改革』ではなく、未来を『創る改革』とし、行財政運営のカタチを変えることで、将来に向けて都市の総合力を高めることを目指しています。

北九州市のスポーツを維持・発展させるためにも、社会情勢や市民ニーズに応じて、財政の模様替えや制度の見直しなど、迅速・柔軟に対応していく必要があります。

こうしたことから、スポーツ施策の展開にあたっては、「北九州市市政変革推進プラン」や「北九州市公共施設マネジメント」等を踏まえ、財源などを有効に活用できるよう、選択と集中の観点を考慮して進めていきます。

第3章 目指す姿と3つの方針

1 目指す姿／コンセプト

本計画において「目指す姿」および「コンセプト」は以下のとおりです。

目指す姿の実現に向けて、3つの「ACCESS！」(方針)により、取組を進めていきます。

目指す姿

市民誰もが生涯を通してスポーツに親しみ元気になることで、
豊かで未来輝く市民生活の実現を図る。

また、スポーツの力で都市の魅力を上げて、国内外から多様な人々を惹きつけ、
地域・経済の活性化を促すことで、まちの成長を目指す。

コンセプト

スポーツ ACCESS 都市 北九州



2 目指す姿の実現に向けた3つの方針

目指す姿の実現に向けた3つの「ACCESS！」(方針)は以下のとおりです。

3つの「ACCESS！」(方針)が連動し、プラスに作用することで、スポーツで「まちが成長」の好循環につながります。

好循環を生み出すエンジン！

方針Ⅰ スポーツでまちの魅力に ACCESS！

重点方針



一歩先を見据えた新たなスポーツコンテンツを創出し、都市ブランド力を高め、スポーツで稼げるまちを実現します。

方針Ⅱ いつでもだれもがスポーツに ACCESS！



市民のスポーツ活動を推進し、気軽にスポーツに親しめる場を充実させ、ウェルビーイングを実現します。

方針Ⅲ スポーツで未来に ACCESS！



子どもの個性や可能性をはぐくみ、スポーツを支える人材とともに、まちの活力や魅力を向上させます。

第4章 施策体系図



第5章 主要施策

方針Ⅰ スポーツでまちの魅力に ACCESS！

重点方針

施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上

(1) 観るスポーツの機会充実

市ゆかりのプロスポーツチーム等のホームゲーム開催をはじめ、“駅チカ・海チカ”のスタジアムである北九州スタジアム及びホテルやコンベンション施設の集積などの優位性を最大限活用し、大規模国際スポーツ大会等のレベルの高い大会を積極的に誘致し、観るスポーツの一層の充実に向けた取組を進めます。

(2) スポーツによるまちの活性化の推進

大規模国際スポーツ大会等を誘致・開催し、交流人口を増やしていくとともに、北九州市の観光や文化等の様々な資源との連携を図ることで、北九州市内での滞在期間を延ばしていくなど、スポーツが持つ力でまちの活性化を推進します。

また、スポーツを通じた国際交流を深めることで、北九州市の魅力を知ってもらい、さらなる交流人口の増加を目指します。

(3) 大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催支援

北九州市の豊富な大規模国際スポーツ大会等の誘致実績や競技団体等とのネットワークを活かして、さらなる誘致・開催に向けた取組を加速させます。

誘致・開催にあたっては、北九州スポーツコミッションの取組として、例えば「エコフレンドリーなスポーツ大会」といった北九州市の強みを世界に発信できる大会とし、北九州市でのスポーツ大会開催における都市ブランドの浸透を図ります。

また、大規模国際スポーツ大会等の開催を契機とした競技のさらなる普及・振興や、国や人との交流などのスポーツレガシーの取組を進めます。

(4) スポーツツーリズムの推進

スポーツ大会への参加や観戦などを目的とした北九州市内への訪問やスポーツと北九州市の地域資源等を掛け合わせた観光を楽しむスポーツツーリズムを推進することで、交流人口を増やし消費を喚起します。

(5) 都市の魅力を高めるスポーツの振興

大規模国際スポーツ大会等の開催実績があり、北九州市に優位性のあるブレイキンやパルクール等のアーバンスポーツなどを戦略的に振興することで、北九州市の認知度やブランド力の向上、若者にとって魅力のあるまちづくりの推進につなげます。

(6) プロスポーツチーム等・アスリートの応援機運の醸成

市ゆかりのプロスポーツチーム等やトップアスリート・パラアスリートの情報発信を強化するとともに、産学官連携等により市民とのふれあいの機会を創出することで、応援機運の醸成や支援の拡大につなげます。

(7) 興行ニーズに対応した開催環境づくり

近年、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、交流人口の拡大を進める都市間競争が激化しています。

そのような中、北九州市の優位性の確立や存在感を発揮していくため、スポーツや音楽ライブの開催などの多様な興行ニーズに対応できる機能や設備を有した多目的施設の必要性の検討や、北九州スポーツコミッションの取組や支える人材の育成をはじめとした大規模国際スポーツ大会等の受け入れ態勢の強化など、興行ニーズに対応した開催環境づくりを進めます。

(8) プロスポーツチーム等との連携による地域活性化

北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を市民や地元企業等と一体となって支援するとともに、野球やバレーボール、ソフトボールなどの市ゆかりのプロスポーツチーム等も支援することで、市民のシビックプライドの醸成や青少年の健全育成、地域の活性化につなげます。

また、これらのチームと連携し、環境やエコに配慮したまちづくりなど、北九州市のチームらしい社会課題解決に向けた取組を進めます。

(9) 戦略的プロモーションにつながる効果的な情報発信

北九州市のSNSアカウントやホームページ等の幅広いメディアを活用し、北九州市の魅力あるプロスポーツ関連情報やスポーツイベント、スポーツ教室等の情報を戦略的かつ効果的に発信します。

また、北九州市で開催される大規模国際スポーツ大会等を契機とし、北九州市の魅力を世界へ発信することで、国際的な認知度の向上などを図ります。

方針Ⅱ いつでもだれもがスポーツに ACCESS !

施策2 市民のスポーツ活動の推進

(1) 市民のスポーツ活動の参加や観る機会の創出・充実

市民の誰もが、性別や年齢、障害の有無といったそれぞれの置かれた状況に関わらず、気軽にスポーツ活動に親しむことで、ウェルビーイングの向上を実感できるよう、より魅力的な市民スポーツ活動の参加や観る機会を創出・充実させます。

(2) 女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出

スポーツ実施率が比較的低い傾向にある女性や若者、働く世代(25ページ・資料編参照)に向けて、「スポーツを一緒にする仲間づくり」や「スポーツをするきっかけづくり」、「スポーツをしやすい環境づくり」などを通して、気軽にスポーツにアクセスできる機会を創出します。

(3) スポーツを通じた心と身体の健全な発達

スポーツを通じた心と身体の健全な発達に資するため、市民がそれぞれのライフスタイルにおいて、達成感や爽快感の実感、ストレス解消、体力向上などといった目的に応じたスポーツ活動を推進します。

(4) 競技スポーツの支援

市ゆかりのプロスポーツチーム等・アスリートが大いに活躍することは、市民に夢と感動を与えるとともに、シビックプライドの醸成につながります。

そのためには、競技スポーツの振興が不可欠であるため、競技団体や選手への支援を行うとともに、市ゆかりのプロスポーツチーム等やアスリートとも連携したジュニア選手の技術力向上などを推進します。

(5) インクルーシブスポーツ(障害のある人などのスポーツ活動)の推進

障害のある人も、ない人も、ともに同じスポーツに親しみ、交流できるスポーツ活動機会を拡充するとともに、市ゆかりのプロスポーツチーム等と触れ合うことなどで、共生社会の促進を図ります。また、障害のある人や高齢者などが、障害の有無や程度に関わらず、それぞれの身体状況やニーズに応じて、より身近に、より積極的にスポーツ活動に親しめる環境や機会を拡充します。

施策3 気軽にスポーツに親しめる場の充実

(1) スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取組の促進

高齢者や障害のある人をはじめ、全ての市民が「わかりやすい」「利用しやすい」スポーツ施設となるよう、ユニバーサルデザイン化を促進するとともに、スポーツ環境の改善に努めます。

また、SDGs 未来都市として持続可能なスポーツ施設を目指すため、施設の更新時や大規模改修時などには先進的な省エネ・創エネ技術の導入を検討するなど、時代に即した環境にやさしい取組を進めます。

(2) 学校体育施設の有効活用

北九州市はこれまで、市民が気軽にスポーツ活動や健康づくりに親しめるよう、地域に根差した学校体育施設を、地域スポーツ活動の場として市民に開放する取組を行っています。

今後も、学校教育に支障のない範囲で小学校及び中学校の体育施設を有効活用します。

(3) 多様なライフスタイルに対応したスポーツ施設の運用

市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて、身近で安心してスポーツ施設を利用でき、気軽にスポーツにアクセスできるよう、スポーツ施設のインターネット予約の機能拡充や利用時間等の効率的かつフレキシブルな運用について検討します。

また、安全安心で持続可能なスポーツ活動の環境を維持していくため、公共施設マネジメントを踏まえ、スポーツ施設の長寿命化や「選択と集中」による集約・拠点化などの取組を進めます。

(4) 公園など身近な運動の場の提供

公園やまちなかのオープンスペースなどにおいて、身体を動かした遊びや、心身のリフレッシュのための軽い運動を行う場の提供に必要な仕組みづくりや環境づくりを進めます。

(5) 産学官連携によるスポーツ環境の創出

市民がよりスポーツにアクセスしやすい環境づくりのため、スポーツ施設や公園のみならずまちなかのオープンスペースの活用に加え、産学官連携による企業や大学等の施設の活用などの検討を進めます。

方針Ⅲ スポーツで未来に ACCESS !

施策4 子どものスポーツ活動の推進

(1) 学校体育による子どもの体力向上

健やかな身体の育成のためには、幼児期から運動やスポーツをする環境を整えることで、運動が好きな子どもや日常的な運動習慣を持つ子どもを増加させ、子どもたちが生涯にわたって運動やスポーツに取り組む土台づくりが大切です。

このため、成果を上げている北九州市の学校体育プログラムを推進し、「運動好きな子ども」「運動量の豊富な子ども」を育て、子どもの体力向上と豊かなスポーツライフの実現を図ります。

(2) 子どもの個性や可能性を引き出す運動・スポーツに親しむ機会の充実

子どもの個性や可能性を引き出すことを目的とし、教育委員会等の関係機関や総合型地域スポーツクラブ等と連携することで、幼児・児童・生徒が成長に応じた多様な運動・スポーツに親しむ機会の充実を図ります。

また、プロスポーツチーム等の試合や大規模国際スポーツ大会等の観戦などにより、子どもたちが本物のスポーツにアクセスする機会を提供します。

(3) 子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実

全ての子どもが、それぞれの個性や可能性に応じた日常的なスポーツ活動をそれぞれに選択し気軽にアクセスし、スポーツをはじめるきっかけづくりとなるよう、子育て世代に向けて、子どものスポーツ活動の情報をSNS等の様々な媒体を活用して、周知・PRすることでスポーツ情報発信の充実を図ります。

施策5 スポーツを支える人材の活躍の場の充実

(1) スポーツ推進委員・スポーツ指導者・パラスポーツ指導者の育成・活用及び資質向上

市民のスポーツ活動を持続可能とし、より安全で健全なスポーツ環境を支えるため、生涯スポーツ(ニュースポーツ等)や競技スポーツ、パラスポーツといったそれぞれの分野でスポーツを支える人材の育成・活用及び資質向上に向けた取組を進めます。

(2) 地域スポーツを支える団体(北九州市スポーツ協会等)の活動の充実

市民誰もがスポーツにアクセスできる環境を高めるため、地域スポーツを支える団体との連携により、スポーツ教室・健康教室などを開催し、市民のスポーツ活動の充実を図るとともに、地域スポーツを支える人材の活躍の場づくりを行う団体の活動を支援します。

(3) 大学等との連携による地域スポーツを支える人材の育成・拡充・支援

大学等との連携により、地域スポーツを支える人材や学生の育成、機会づくり等による育成の場の拡充・支援を図ります。

特に、学生の育成や育成の場の拡充の支援に取り組むことで、学生のスキルやノウハウの習得を促進し、在学中や卒業後における次世代の地域スポーツを支える人材の持続的な確保を図ります。

(4) プロスポーツチーム等と大学等との連携によるスポーツボランティア活動などの場づくり

北九州市を拠点とするプロスポーツチーム等と大学等との連携により、学生・生徒がスポーツボランティア活動、スポーツの運営や集客策の検討など、多様な形でスポーツに参画する機会を創出し、スポーツを通じた地域活性化の一端に携わることができる環境づくりに取り組みます。

また、学生・生徒のプロスポーツチーム等に対する応援機運やシビックプライドの醸成を図ります。

第6章 計画の目標

1 計画の目標

計画の推進にあたっては、以下を計画の目標とし、スポーツの特性を踏まえ、目標の達成に向けて、各施策を展開していきます。

目標 ① スポーツを身近に感じる市民の割合 70% (令和11年度目標)



スポーツに親しむ(観る、参加する)機会に恵まれているまちだと感じる市民の割合。(出典)北九州市「市民意識調査」

調査時期	平成28年度	令和元年度	令和4年度
数値(%)	39.5	48.4	44.4

目標 ② スポーツ実施率 70% (令和11年度目標)



週に1日以上、運動・スポーツを行っている市民の割合。

(出典)北九州市「北九州市民スポーツ実態調査」

調査時期	平成27年度	令和元年度	令和4年度
数値(%)	52.0	51.7	56.6

目標 ③ スポーツ観戦率 40% (令和11年度目標)



過去1年間で直接、競技会場(市外の会場も含む)でスポーツの試合を観戦した市民の割合。(出典)北九州市「北九州市民スポーツ実態調査」

調査時期	平成27年度	令和元年度	令和4年度
数値(%)	28.0	29.4	20.0

目標 ④ 観光消費額 1,800 億円 (令和10年度目標)



観光客数(実数)×観光消費単価により算出される数値。

※北九州市基本計画における主要な成果指標の一つ

(出典)北九州市「北九州市観光動態調査」

調査時期	平成28年	令和元年	令和4年
数値(億円)	1418.7	1345.4	827.3

資料編 参考データ・用語集

- 1 北九州市民スポーツ実態調査
- 2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査
- 3 市内スポーツ施設情報
- 4 北九州市スポーツ推進計画策定過程
 - (1) 策定の過程
 - (2) 北九州市スポーツ推進計画策定検討会委員
- 5 用語集

1 北九州市民スポーツ実態調査

(1) 調査の概要

●調査の目的

北九州市民のスポーツの実施状況等の実態を把握し、スポーツ振興施策について検討する際の基礎資料とすること。

●調査設計

- (1) 調査地域 北九州市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する満18歳以上(令和5(2023)年1月1日現在)の男女
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送・Webによるアンケート調査

●調査時期

令和5(2023)年2月から3月までの期間に実施

●回収状況

- (1) 標本数 3,000票
- (2) 回収数 1,016票
- (3) 回収率 33.8%

●調査結果の留意事項

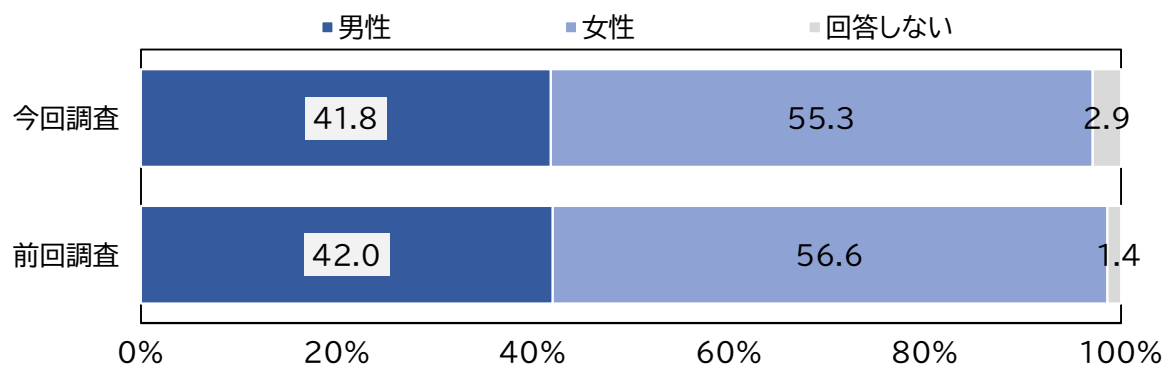
- 回答比率は、小数点第2位を四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。
- 2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 前回調査の数値等については、令和元(2019)年9月に実施した「令和元年度北九州市民スポーツ実態調査」の結果です。

(2) 調査結果

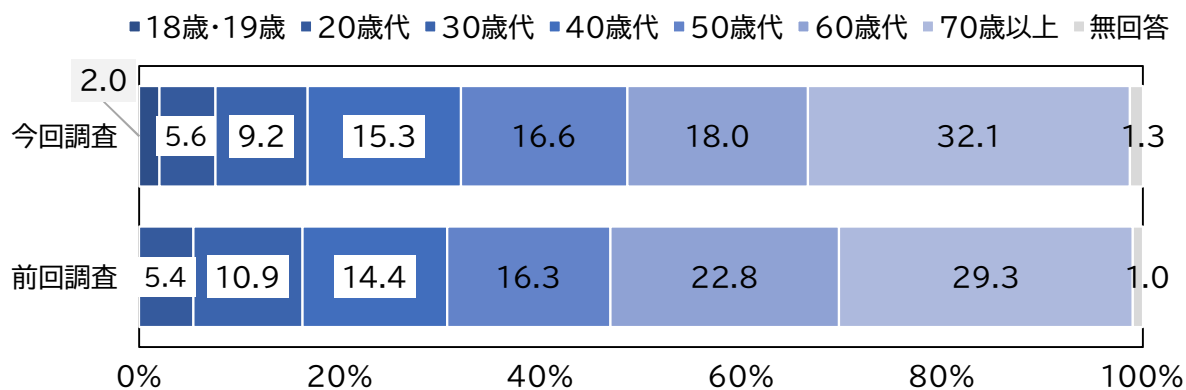
●回答者の属性

本調査の回答者(1,016人、回収率 33.8%)の属性は以下の通りです。

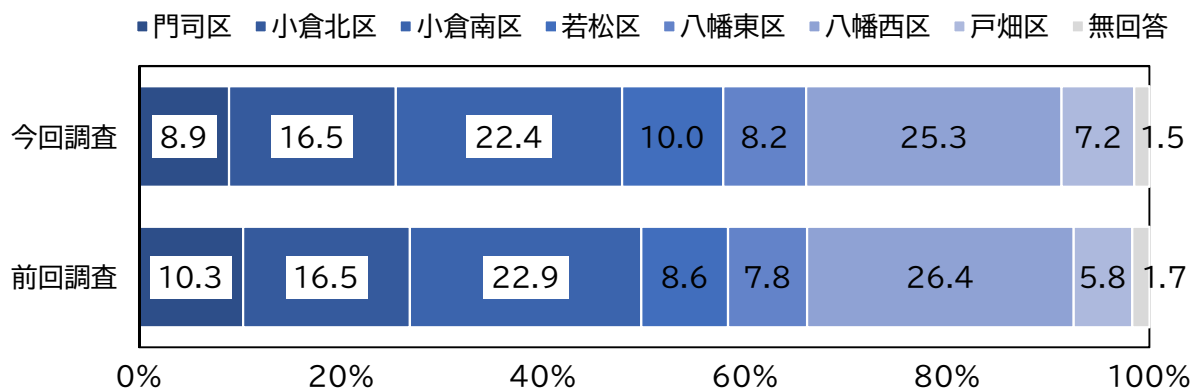
■性別



■年齢



■居住地



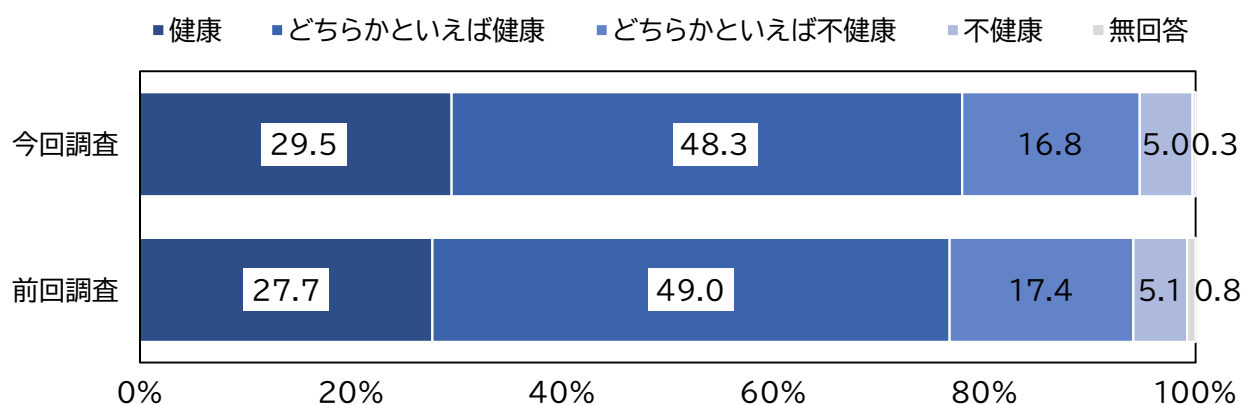
問1 健康状態

【 全体の特徴 】

健康状態の認識については、「健康」が29.5%、「どちらかといえば健康」が48.3%、合計した健康率は77.8%と、健康に感じている割合が8割近くになっています。

【 前回調査との比較 】

前回調査と比較すると、「健康」は1.8ポイント増加に対して、「どちらかといえば健康」は0.7ポイント減少しましたが、「健康」と「どちらかといえば健康」を合計した健康率は、前回の76.7%に対して77.8%と、1.1ポイント増加しました。



問2 1年間に行った運動・スポーツの頻度

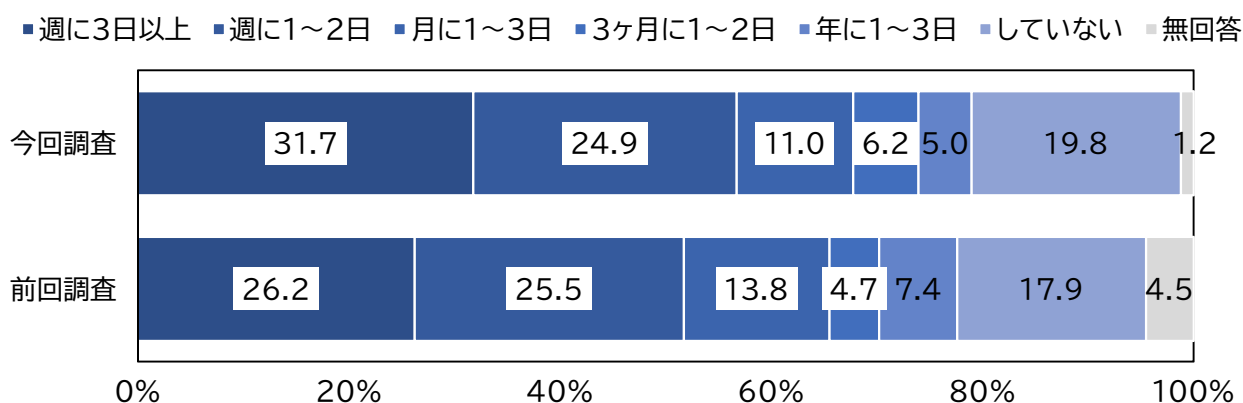
【 全体の特徴 】

1年間に行った運動・スポーツの頻度については、「週に3日以上」が 31.7%、次いで「週に1～2日」が 24.9%、「していない」が 19.8%となっています。

週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、「週に3日以上」と「週に1～2日」を合計して 56.6%となっています。

【 前回調査との比較 】

前回調査と比較すると、「週に3日以上」は5.5ポイント増加に対して、「週に1～2日」は0.6ポイント減少していますが、週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、前回の 51.7%に対して 56.6%と、4.9ポイント増加しています。

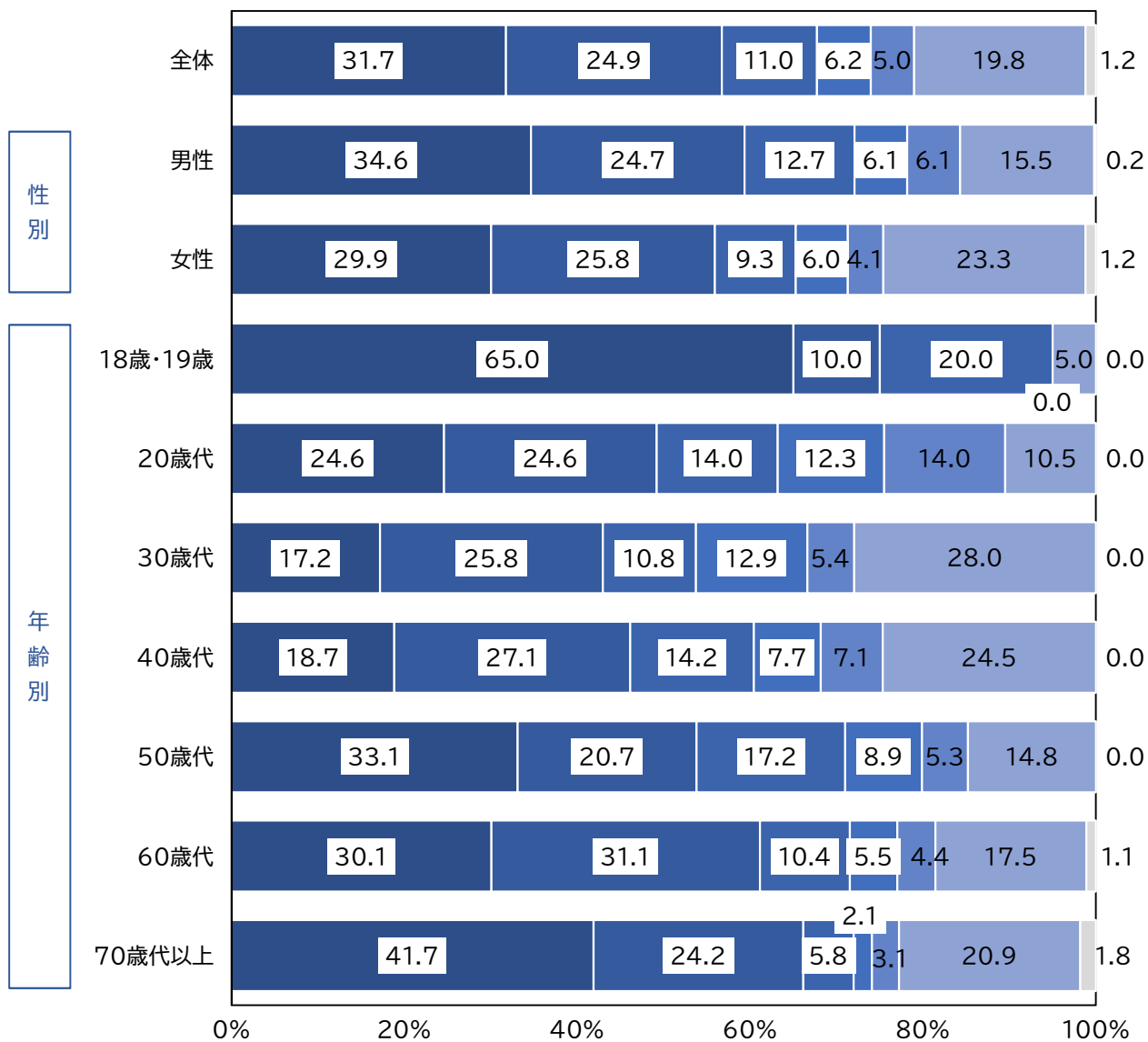


【 属性別にみた特徴 】

性別にみると、男女ともに「週に3日以上」が最も多く、男性で 34.6%、女性で 29.9%となっています。週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、男性で 59.3%、女性で 55.7%となっており、いずれも、男性より女性の方が低くなっています。

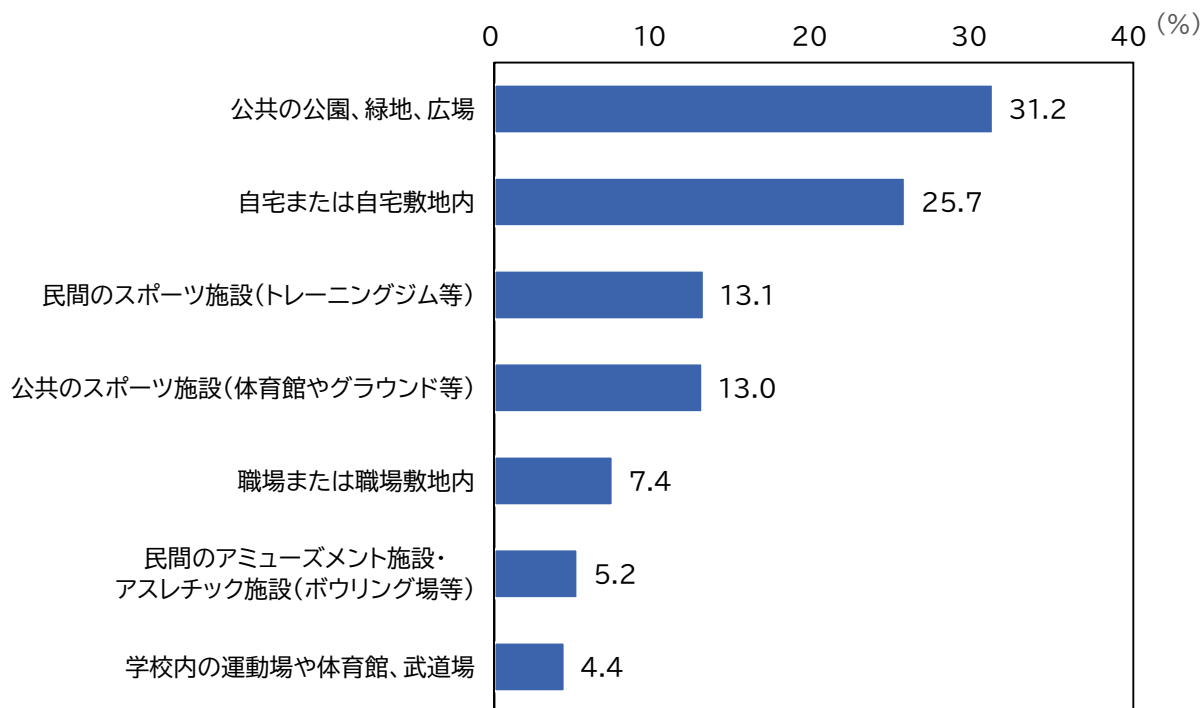
年齢別にみると、週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、18・19歳で 75.0%と最も高く、次いで70歳代以上で 65.9%、60歳代で 61.2%となっています。一方、20代では 49.2%、30代・40代ではそれぞれ 43.0%・45.8%となっており、他の世代と比べ、若者世代や働き世代で割合がより低くなっています。

■週に3日以上 ■週に1~2日 ■月に1~3日 ■3ヶ月に1~2日 ■年に1~3日 ■していない ■無回答



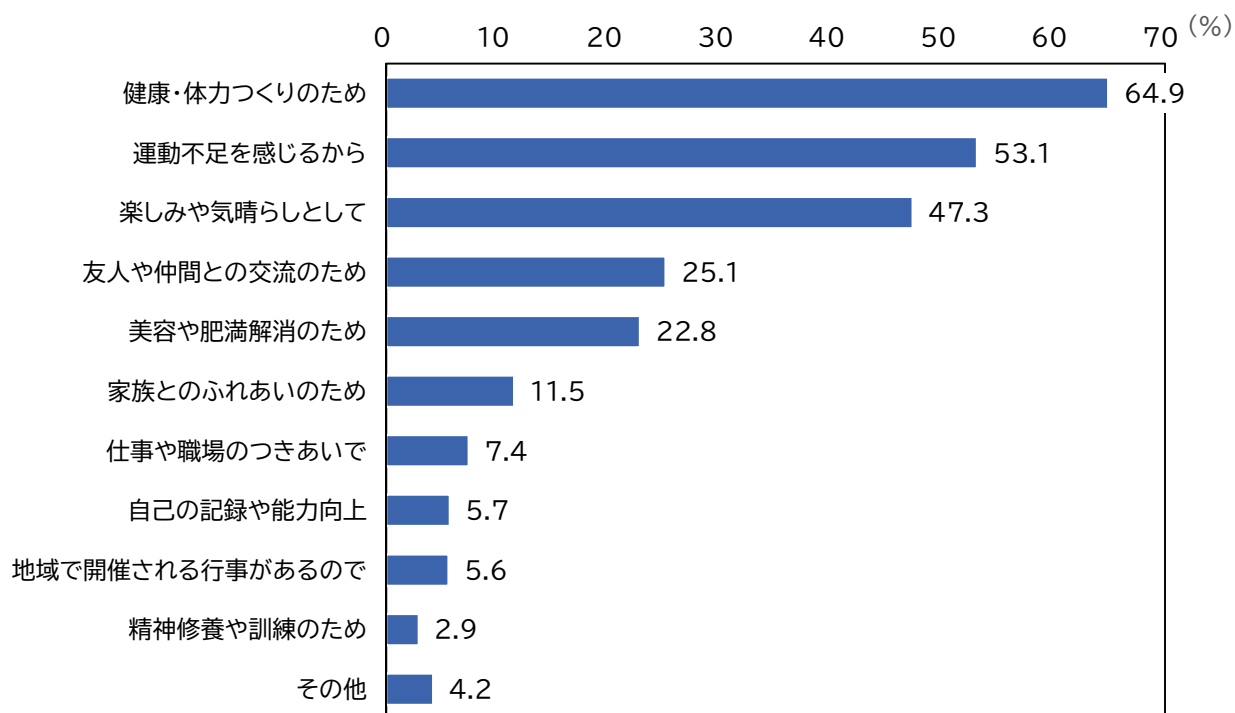
問3 運動・スポーツを行った場所

運動・スポーツを行った場所については、「公共の公園、緑地、広場」が 31.2%と最も多く、次いで「自宅または自宅敷地内」が 25.7%、「民間のスポーツ施設」が 13.1%となっています。



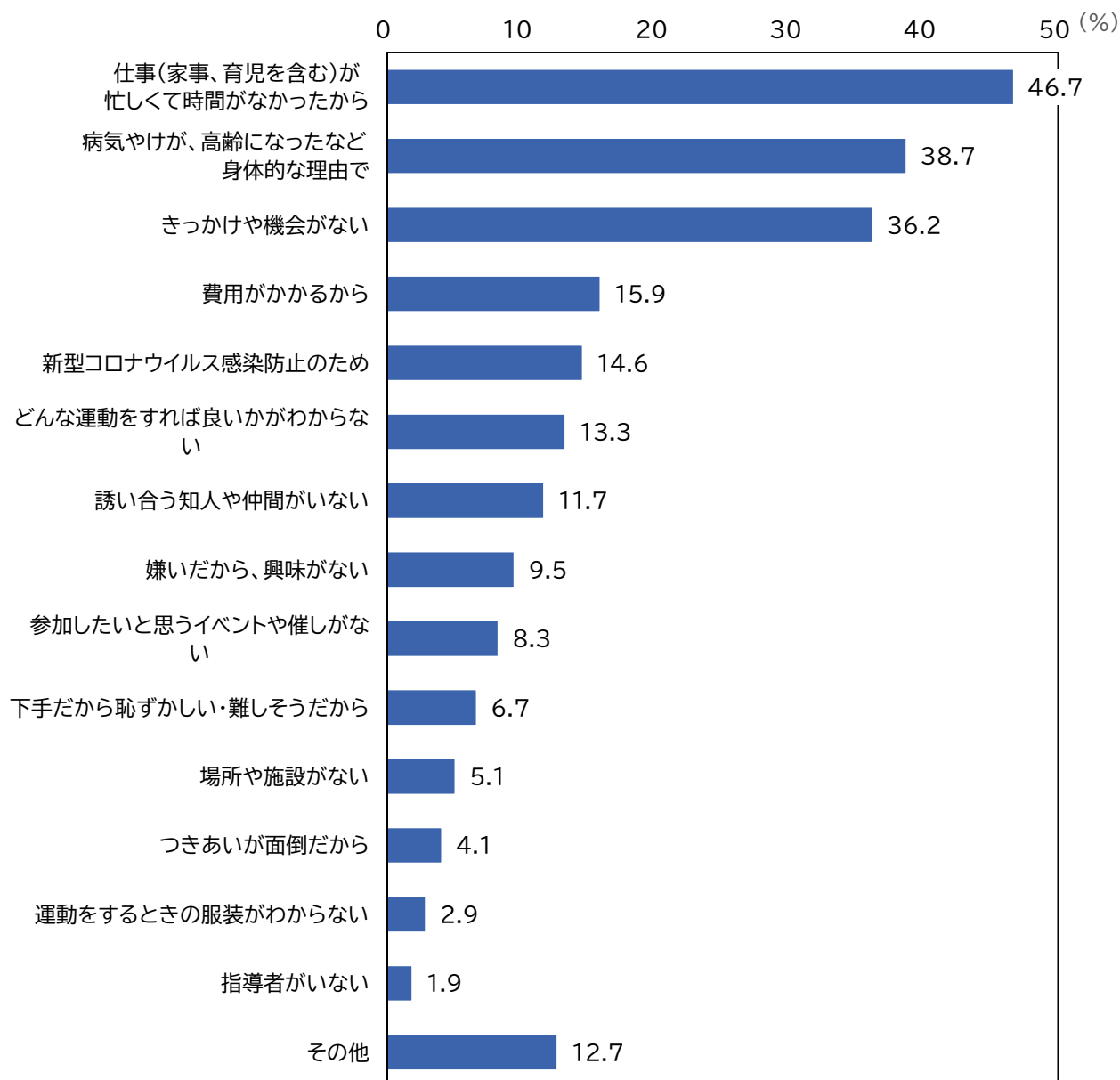
問4 運動・スポーツを行った理由(複数回答)

運動・スポーツを行った理由については、「健康・体力づくりのため」が64.9%で最も多く、次いで「運動不足を感じるから」が53.1%、「楽しみや気晴らしとして」が47.3%となっています。



問5 運動・スポーツを行わなかった理由(複数回答)

運動・スポーツを行わなかった理由については、「仕事(家事、育児を含む)が忙しくて時間がなかったから」が 46.7%と最も多く、次いで「病気やけが、高齢になったなど身体的な理由で」が 38.7%、「きっかけや機会がない」が 36.2%となっています。



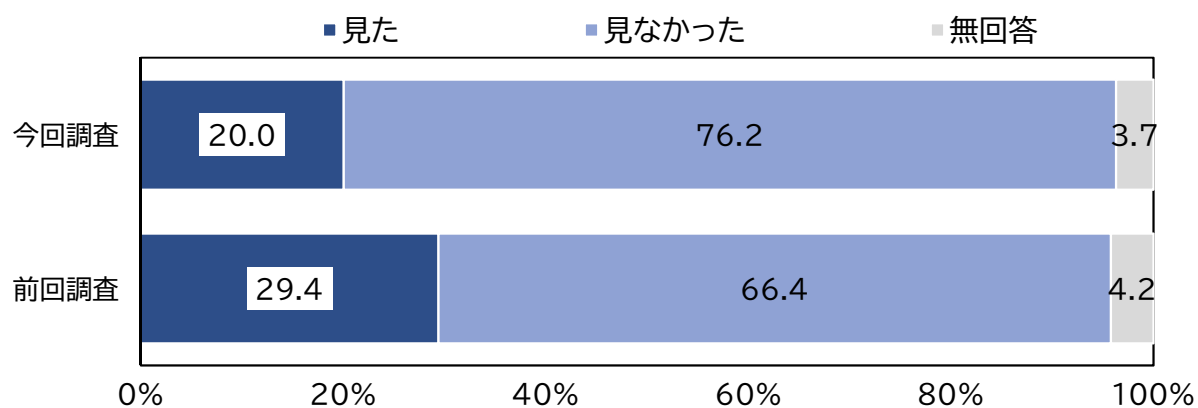
問6 競技会場でスポーツの試合を観戦したか

【 全体の特徴 】

1年間の競技会場でのスポーツ観戦については、「見た」が 20.0%、「見なかった」が 76.2%となっています。

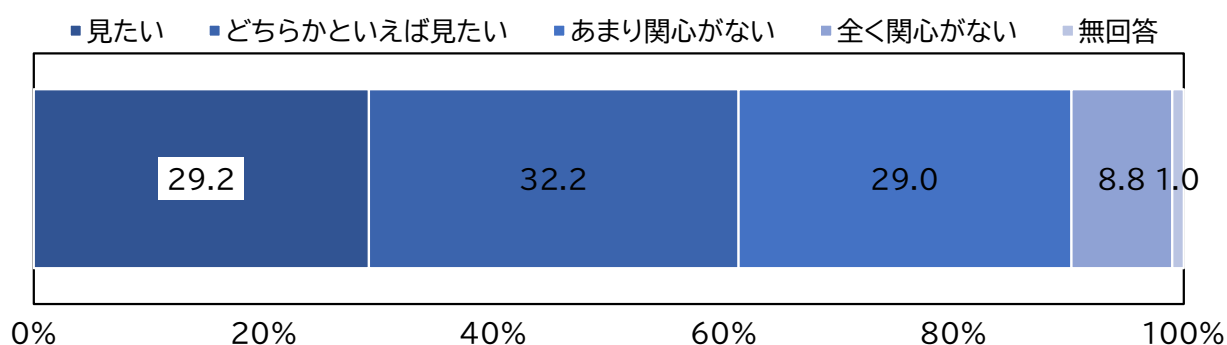
【 前回調査との比較 】

前回調査と比較すると、「見た」が前回調査より 9.4 ポイント減少、「見なかった」が 9.8 ポイント増加となっています。



問7 実際に競技場でスポーツの試合を見たいか

スポーツ観戦の意向については、「どちらかといえば見たい」が 32.2%、次いで「見たい」が 29.2%となっており、合計した観戦に興味がある人は 61.4%となっています。



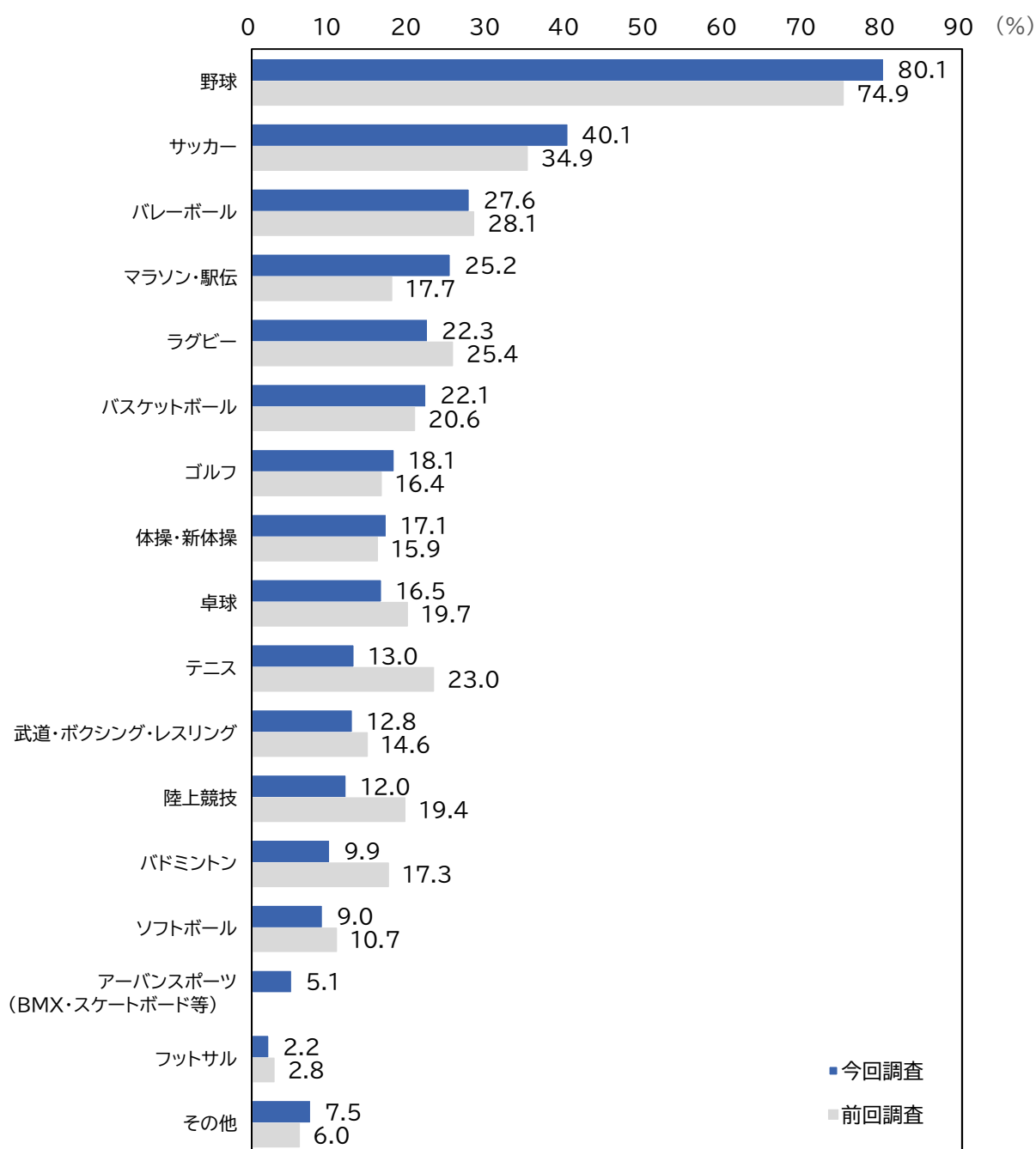
問8 観戦したいスポーツ競技(複数回答)

【 全体の特徴 】

観戦したいスポーツについては、「野球」が 80.1%と最も多く、次いで「サッカー」が 40.1%、「バレーボール」が 27.6%となっています。

【 前回調査との比較 】 ※比較可能なスポーツ競技種のみ掲載

前回調査と比較すると、上位3位は前回調査と変わりませんが、「野球」「サッカー」ともに、5.2ポイント増加しています。



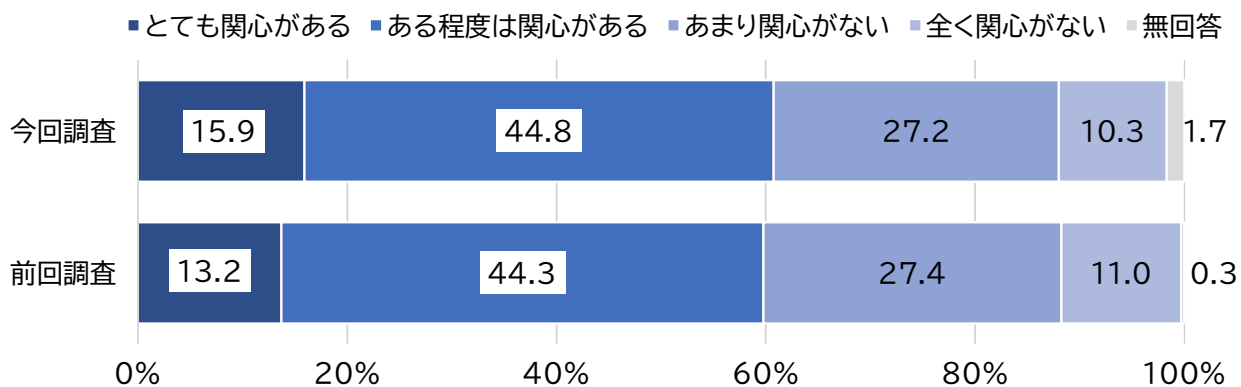
問9 市内で大規模な国際スポーツ大会・全国大会が開催されることに関心があるか

【 全体の特徴 】

国際大会・全国大会への関心については、「ある程度は関心がある」が44.8%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が27.2%となっています。

【 前回調査との比較 】

前回調査と比較すると、大きな違いはありませんが、「とても関心がある」が2.7ポイント増加しています。



2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

(1) 調査の概要

●調査内容

市内公立学校における児童・生徒に対する実技に関する調査(小学校8種目・中学校9種目)

※中学校については、20m シャトルランまたは持久走のどちらかを選択

●実施学年

小学校第5学年／特別支援学校小学部第5学年

中学校第2学年／特別支援学校中学部第2学年

●調査実施期間(実技に関する調査)

令和5(2023)年5月から7月までの期間に実施

●結果の概況(実技に関する調査)

小学校	<ul style="list-style-type: none">✓ 体力合計点では、男女ともに全国平均を上回りました。✓ 令和4(2022)年度調査との比較では、女子の50m 走を除く、全ての測定項目で点数が向上しました。✓ 男女共に、8種目全てにおいて、全国平均と同等以上でした。
中学校	<ul style="list-style-type: none">✓ 体力合計点では、男女ともに全国平均を上回りました。✓ 令和4(2022)年度調査との比較では、男子では6種目、女子では7種目で点数が向上しました。✓ 男子では、持久走を除く8種目で全国平均を上回りました。 ※持久走(男子 1,500m／女子 1,000m)は 20m シャトルランとの選択✓ 女子では、持久走、ソフトボール投げを除く7種目で全国平均を上回りました。

(2) 調査結果

●小学校5年生

男子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
(今回)	全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
令和4年度	本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
令和4年度との比較		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上

女子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
(今回)	全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
令和4年度	本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
令和4年度との比較		向上	向上	向上	向上	向上	低下	向上	向上	向上

●中学校2年生

男子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	29.72	26.24	46.29	51.95	413.28	80.12	7.86	201.52	20.51	43.46
(今回)	全国	29.02	25.82	44.16	51.22	409.02	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
令和4年度	本市	29.89	26.05	45.62	51.43	411.48	79.38	7.98	200.49	20.64	42.89
令和4年度との比較		低下	向上	向上	向上	低下	向上	向上	向上	低下	向上

女子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	23.64	22.08	47.52	46.35	320.97	51.41	8.86	170.70	12.13	48.65
(今回)	全国	23.15	21.62	46.27	45.65	306.26	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22
令和4年度	本市	23.48	21.58	47.11	45.64	303.38	50.85	8.95	169.09	12.41	48.27
令和4年度との比較		向上	向上	向上	向上	低下	向上	向上	向上	低下	向上

※表中の網掛け ■ または ■ は、全国平均値と比較して同等以上の項目



4 北九州市スポーツ推進計画策定過程

(1) 策定の過程

本計画の策定においては、以下の通り、「北九州市スポーツ推進計画策定検討会」における審議のほか、大学生を対象としたスポーツ推進に関する意見聴取、及び、市民に対するパブリックコメントを実施し、それらの意見を踏まえて策定しました。

時期	内容
令和6年6月	大学生を対象としたスポーツ推進に関する意見聴取
令和6年7月	第1回北九州市スポーツ推進計画策定検討会 「北九州市スポーツ推進計画」の骨子案について
令和6年8月	第2回北九州市スポーツ推進計画策定検討会 「北九州市スポーツ推進計画」の素案について
令和6年9月	教育委員会会議 「北九州市スポーツ推進計画」の素案について
令和6年10月 ～ 令和6年11月	パブリックコメント実施
令和6年〇月	第3回北九州市スポーツ推進計画策定検討会 「北九州市スポーツ推進計画」の最終案について
令和7年〇月	北九州市スポーツ推進計画策定
令和7年〇月	北九州市スポーツ推進計画の公表

(2) 北九州市スポーツ推進計画策定検討会委員

氏名 (◎:座長)	所属団体等
ありのぶ ただよし 有延 忠剛	北九州市障害者スポーツセンター所長
いけもと ともき 池元 友樹	北九州市スポーツ大使
かじやま みきこ 梶山 幹子	北九州市小学校体育連盟
くらすき のぶこ 倉崎 信子	九州栄養福祉大学教授
ひさずみ よしひろ 久澄 喜裕	公益財団法人北九州市スポーツ協会事務局長
はなうち まこと 花内 誠	九州産業大学教授
◎ ふなつ きょうたろう ◎ 船津 京太郎	九州共立大学教授
まつぎき じゅん 松崎 淳	九州共立大学講師

(敬称略・五十音順)

5 用語集

用語	解説
【あ】	
アーバンスポーツ	速さや高さを極限まで追求し、過激で華麗な離れ業を競い合うスポーツ（「エクストリームスポーツ」）のうち、都市での開催が可能なもの。音楽、ファッションなど遊び感覚の高い若者文化と融合したものとして、従来のスポーツの枠を超えた領域に展開するもの。「ストリートスポーツ」とも呼ばれる。
インクルーシブスポーツ	障害の有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが楽しめる、包摂性のある(Inclusive な)スポーツ。
ウェルビーイング	身体的な健康だけではなく、精神的・社会的に良好な状態。
エコフレンドリー	製品やサービス、行動が環境に与える負荷を最小限に抑えること。
SNS	Social Networking Service(s)の略称。友人や知人とつながり、文書や写真、動画などを通じて自ら情報発信や自己表現をしたり、コミュニケーションしたりするサービスの通称。
SDGs (持続可能な開発目標)	Sustainable Development Goals の略称。貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために国際連合(United Nations)が設定した、世界共通の17の目標。
オープンスペース	公園、歩行空間、広場等の壁や仕切りが少ない開放的な空間のこと。
【か】	
北九州市公共施設マネジメント	市民の財産である公共施設を再構築する中で、将来における財政負担を軽減するとともに、将来のニーズを見据えて時代に適合したものとするための取組。
北九州市市政変革推進プラン	北九州市が次世代への投資を行いながら、行財政運営のあり方を再構築するためのプラン。
共生社会	障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会。
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
交流人口	通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、習い事、スポーツ、観光、レジャー等の理由で、その地域を訪れる人々のこと。
【さ】	
シビックプライド	自らが構成員としての自覚をもち、より良いまちにしていこうとする自負心や当事者意識を含んだ、ある地域や都市に対する誇りや愛着のこと。

用語	解説
省エネ・創エネ	省エネ:エネルギーを効率的に使用し、無駄を減らすこと。 創エネ:主に再生可能エネルギーを利用する方法。
スポーツ基本計画	「スポーツ基本法」の理念を具体化し、今後の国のスポーツ政策の方向性を見据えた、国のスポーツ行政の施策や目標を定めた5カ年計画。令和4(2022)年3月に第3期スポーツ基本計画策定。
スポーツ基本法	国のスポーツ推進のための基本的な法律として、競技水準の向上と地域スポーツの推進の好循環を通じ、「スポーツ立国」の実現を目的とした法律。平成23(2011)年制定。
スポーツツーリズム	地域のスポーツ資源とツーリズムを融合する取組。既存のスポーツ資源のほかにも、地域資源がスポーツの力で観光資源となる可能性も秘めている。
スポーツレガシー	スポーツイベントや大会が都市や住民などに与える影響や資産のこと。
生活習慣病	糖尿病・高血圧症などの生活習慣が発症原因に関与していると考えられている疾患の総称。
総合型地域スポーツクラブ	地域住民が自主的に運営する、多世代・多種目のスポーツクラブ。
【は】	
パルクール	フランスで生まれたスポーツ。街中や自然の中で走ったり、飛んだり登ったりして、障害物を越えながら移動するスポーツ。
部活動の地域移行	学校が主体となっている部活動を地域クラブ活動に移行する取組。
ブレイキン	ストリートダンスの一種で、音楽に合わせてダンスするスポーツ。 令和6(2024)年のパリオリンピックで正式種目に採用された。
フレキシブル(Flexible)	制度や規則などが社会情勢等の変化に合わせた柔軟性を持つこと。
【や】	
ユニバーサルデザイン	障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境(例:施設等)をデザインする考え方。
【ら】	
ライフステージ	幼児期・児童期・青年期・壮年期・老年期など、それぞれの年代にともなって変化する生活段階のこと。
レクリエーション	心身の緊張や疲れを癒すために、娯楽を楽しむ活動のこと。

北九州市スポーツ推進計画

発行年月日 令和 年 月

編集・発行 北九州市（都市ブランド創造局スポーツ部スポーツ振興課）

連絡先 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL 093-582-2395

FAX 093-582-2677